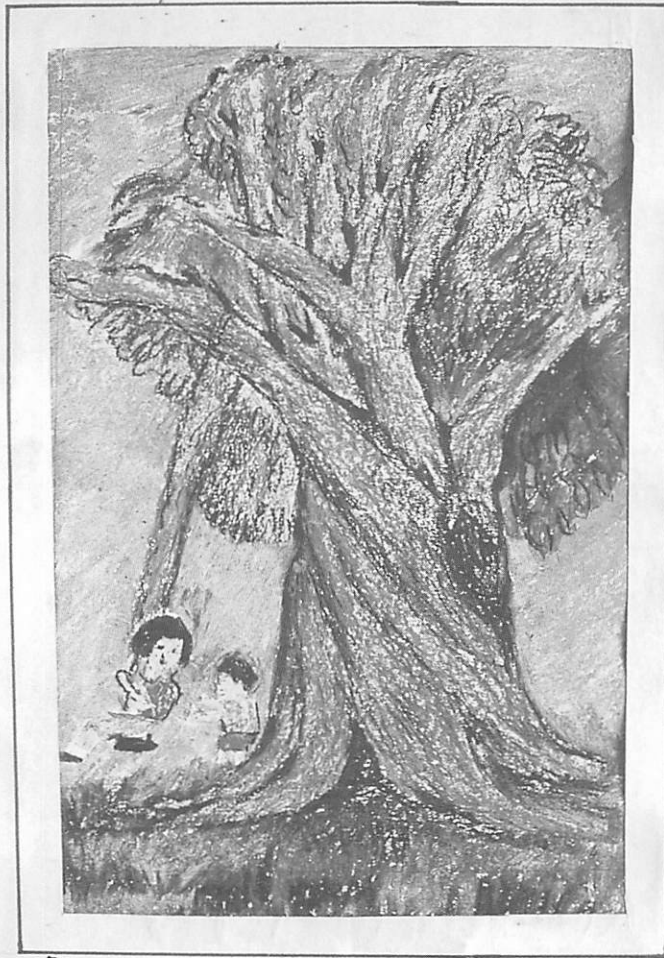


1996年度

# 教育里親支援報告書



一隅を照らす運動総本部「地球救援募金事務局」



18 กันยายน 2539

ชื่อ นาย ชัยฤทธิ์ วรรณพมาศ  
“อยากให้ต้นไม้ อยู่คู่โลกตลอดไป”  
เยาวชนโครงการพัฒนา  
(สีเขียวใหม่)  
มูลนิธิดาวประทีป

・ 表紙画のこと

「永遠に地球上に木がありますように」

チャイリット・プロムマー

この絵は、タイのプラティープ財団が運営する、少年達の更生施設「ニューライフプロジェクト」の子どもが描いたものです。この少年は、現在立派に更生し「ニューライフ」を卒業していきました。

# 1996年度〔第1期〕 教育里親支援金報告

1996年度より、国内外の恵まれない子どもたちの教育援助を目的として、「教育里親制度」を開始し呼びかけをいたしましたところ、多くの方にご支援をいただいております。

1997年4月、第1期分（1997年3月末日までのご支援分）の教育里親支援金を、タイの「ドゥアン・プラティーブ財団」・同財団内「ニューライフプロジェクト」、インドの「パンニャ・メッター子どもの家」へ送金いたしました。

これを受けて、各団体では奨学生の選考が行なわれ、1997年秋、子どもたちの履歴書が総本部に参りました。皆さまのご支援によって、ここに掲載いたしました子どもたちが、安心して教育を受け、明日への希望を持つことができるようになりました。皆さまの真心に感謝申し上げます。

尚、お手元にお届けする報告書は、総本部で要約・編集させていただきました。

支援状況は下記の通りでございます。どうか、今後も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 1996年度 教育里親支援金配分表

タイ 「ドゥアン・プラティーブ財団」	
継続支援金	48口分 1,440,000円
一時支援金	300,000円
小計	1,740,000円
インド 「パンニャ・メッター子どもの家」	
継続支援金	20口分 600,000円
一時支援金	555,363円
小計	1,155,363円
合計	2,895,363円

## 1996年度 奨学生

プラティーブ財団奨学生	26名
ニューライフプロジェクト奨学生	27名
ニューライフプロジェクト一時支援	7名
インド「パンニャ・メッター子どもの家」	35名
合計	95名

# ドゥアン・プラティープ財団

## 奨 学 生

	名 前
1	パギット・ドアンマニー
2	ワッタナー・ティンタン
3	ワッサナー・ポムソーパー
4	ジャンポム・カムムンクン
5	ポンサック・バンアティット
6	ニラット・カムムンクン
7	チャット・ティンタン
8	ギッサナー・デェットパトム
9	ワッチャラー・ラッタナパックディー
10	ラムヤイ・リアンジャロン
11	パヤッド・ポムパックディー
12	パーウィティー・カムトゥー
13	プアーラット・カムマンクン
14	アックソン・カムトゥー
15	ピーヤヌット・カムムンクン
16	サックチー・カムムンクン
17	タワツチャイ・カムムンクン
18	ヨッドサック・セオプーキオ
19	ギッティyai・ゴンケオ
20	ジンタラー・インクエン
21	クワンチャイ・セエンンスター
22	ウィチアン・トゥムジンダー
23	ルンティプ・カムムンクン
24	ウィニット・センラーチャー
25	ウィラグン・サイヤン
26	エックガチャイ・イエムディーガー

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

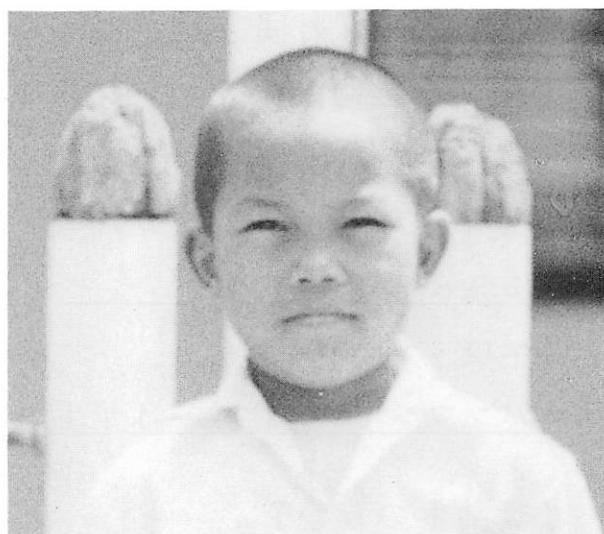
パギット ドアンマニー

【生年月日】

1988 / 7 / 20

【学校・学年】

バンドオンハン小学校 3年生



【奨学生の背景】

コンケン県出身。祖父母の元で暮らしている。両親は、サラパオ（中華風饅頭）売りの商売をしており、他県に住んでいる。他県に仕事に行ってから、一度しか会いに帰ってこない。収入は、日々の生活に足るだけで、一家は相変わらず貧しい。

【奨学生の現況と将来の希望について】

明朗で落ち着きがあり、良く勉強する。両親や先生の言うことを良く聞く。好きな科目は国語で、将来は軍人になって、国のために役立ちたいとのことである。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

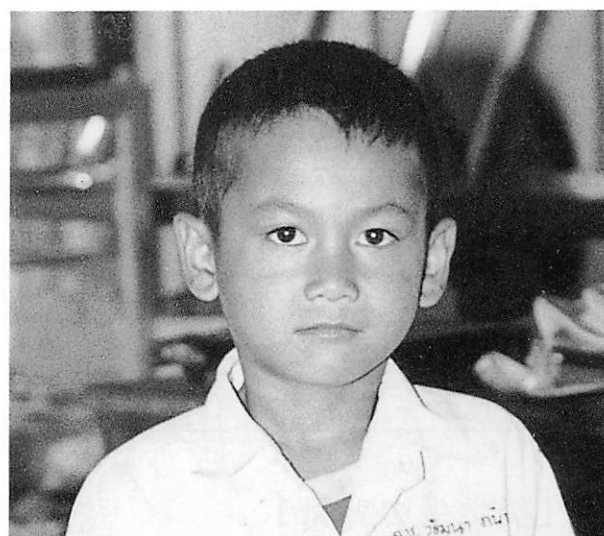
ワツタナー ティンタン

【生年月日】

1989 / 11 / 8

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 2年生



【奨学生の背景】

一家は地方に住んでいる。職業は農業で主に稲作を営んでいるが、収入は不安定である。住んでいる家は、2階建てで1階はコンクリート、2階は木造であるがとても古く、ボロボロである。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。まじめに勉強に励んでおり、放課後や休みの日には家の手伝いをしたり、妹の面倒を見たりしている。好きな科目は算数。将来は医者になりたいとのこと。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

ワッサナー ポムソーパー

【生年月日】

1987/3/11

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 4年生

【奨学生の背景】

2兄弟の下。一家は貧しく、父母の職業は農業である。



【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。落ち着きのある子どもで、明朗で勉学に励んでいる。とても面倒見がいい。好きな科目は算数で、将来は医者になりたいとのこと。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

ジャンポム カムムンクン

【生年月日】

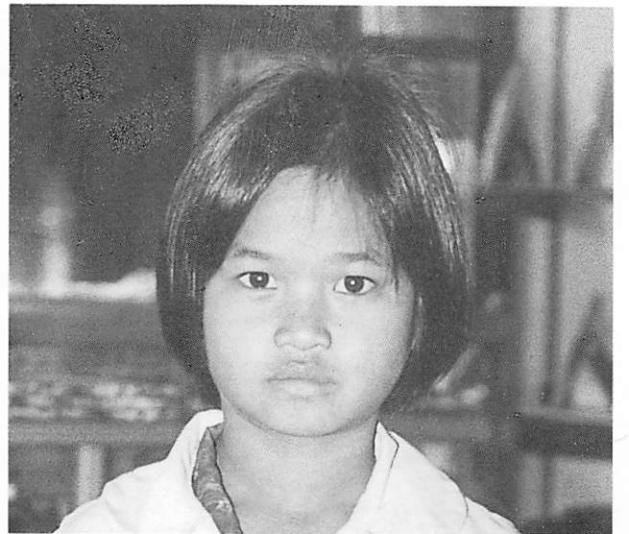
1988/10/6

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 2年生

【奨学生の背景】

7番目の子ども。両親は農業を営んでおり、主に稲作をしている。兄弟のうち兄たちは、日雇いをして家族の生活を助けている。



【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。きちんとした、明るく健康な子どもである。好きな科目は国語で、将来は先生になりたいとのこと。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

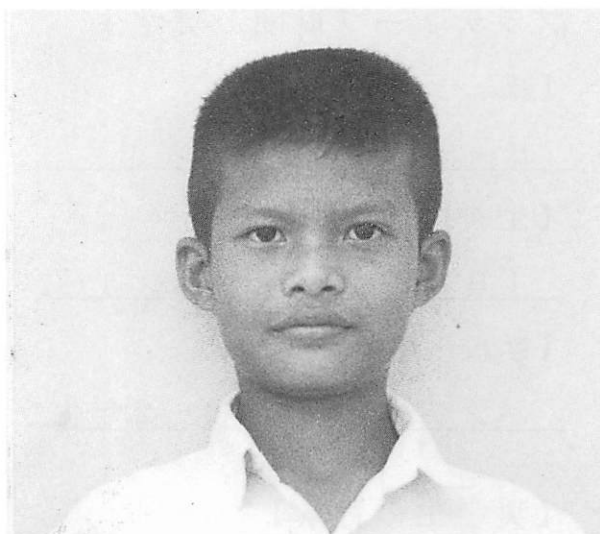
ポンサック バンアティット

【生年月日】

1986 / 6 / 6

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 4年生



【奨学生の背景】

両親と共に地方に住んでいる。両親の職業は農業で稲作をしているが、1年に1回しか田植えができない。(北部の県)収入は不安定で足りない。お金が足りないときは、親戚から借金をするが、親戚も同じように貧しく、毎回借りる訳にはいかない。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。明るく、わんぱくな子どもである。両親の言うことを良く聞き、まじめに勉強している。好きな科目は修身の時間で、将来はボクシングの選手になりたいと思っている。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

ニラット カムムンクン

【生年月日】

1989 / 12 / 5

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 2年生



【奨学生の背景】

一家はとても貧しく苦しい状況にある。父母は農業をして収入を得ているが、不安定で、一家5人が暮らして行くには十分でない。生活費は不足しており、生きていくのも困難な状態である。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。勉強熱心な子どもで、性格はおとなしい。好きな科目は国語で、将来は先生になりたいとのこと。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

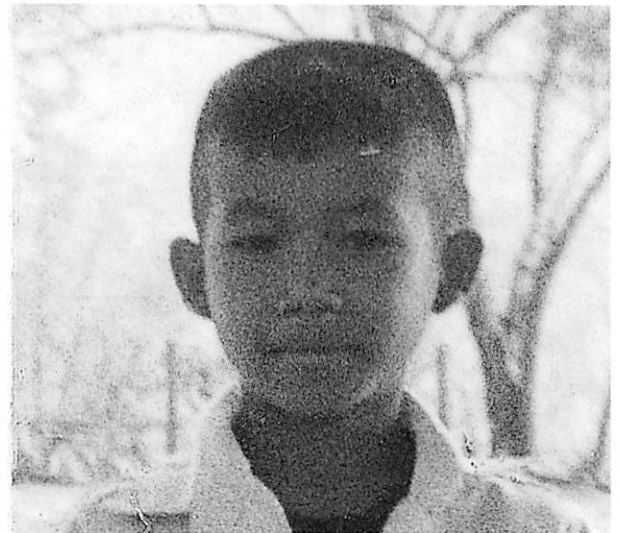
チャット ティンタン

【生年月日】

1989/4/6

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 2年生



【奨学生の背景】

両親と共に住んでいる。両親の職業は農業である。祖父母も同居しており、一家は全部で6人であるため、生活費が嵩んでいる。しばしば生活費が足りなくなり、親戚や近所の人からお金を借りている。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。明朗で落ち着きがあり、好きな科目は体育で勉学に励んでいる。父母の言うことを良く聞き、休日には家事を手伝い、自分で洗濯をする。日中は学校で給食を食べる。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

ギッサナー デェットパトム

【生年月日】

1989/8/13

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 2年生



【奨学生の背景】

両親は農業をしているが、収入は不安定である。彼女は一人っ子であるが、一家の状態は貧しく、電気もなくランプで生活している。

【奨学生の現況と将来の希望について】

彼女はかわいくて、健康な子どもである。好きな科目は家庭課で、将来は先生になりたいそうだ。



プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

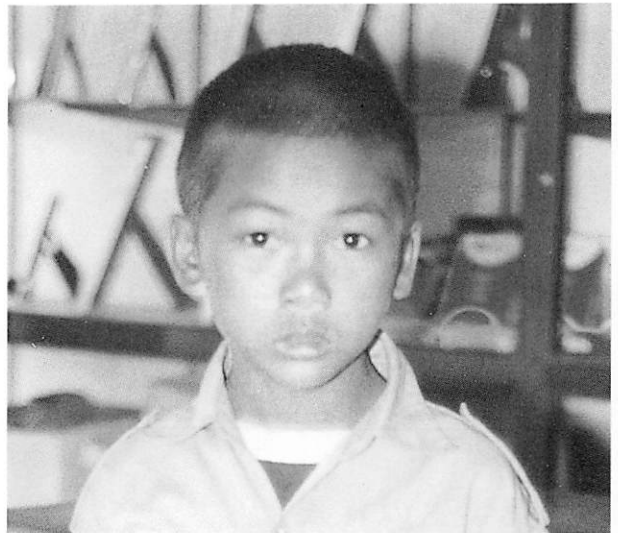
ワッチャラー ラッタナパックディー

【生年月日】

1989 / 2 / 1

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 2年生



【奨学生の背景】

一家は農家である。家族6人協力して生計をたてているが、農業で得る収入はとても不安定である。(雨が降らず土地が乾いてしまうと何も耕作する事ができない。)従って彼の学業に支障をきたすと言うことである。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。性格は良く、毎日学校に通い、両親の言うことを良く聞く。好きな科目は修身で、将来は警察官になりたいそうだ。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

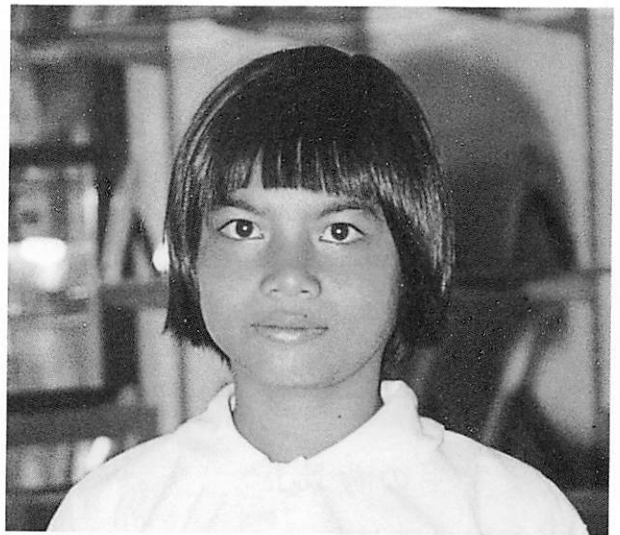
ラムヤイ リアンジャロン

【生年月日】

1988 / 2 / 9

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 4年生



【奨学生の背景】

父は雇い人として働き月4,000バーツの収入がある。母は農業をしているが収入は不安定で現在一家の生活費は不足し、非常に貧しい状況。父母は家族のため収入を得る努力をしている。また、子どもの教育の必要性も感じている。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。とても活発な子どもで、好きな科目は算数。将来は先生になりたいと思っている。放課後や休日は、家事を手伝い妹の面倒を見ている。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

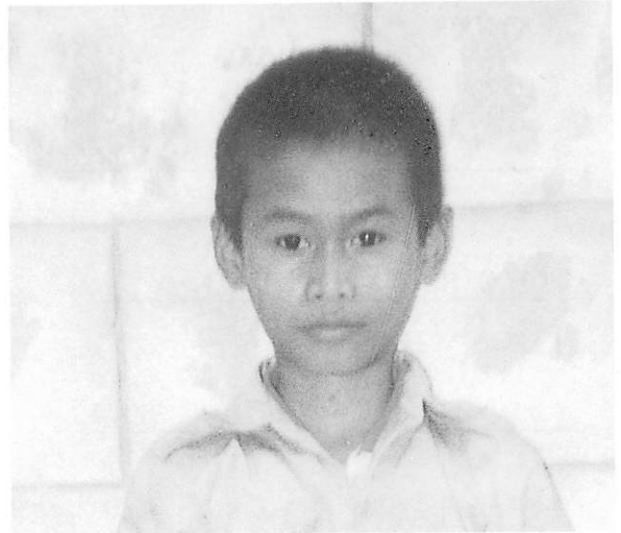
パヤッド ポムパックディー

【生年月日】

1988 / 11 / 24

【学校・学年】

バンワンヤン小学校6年生



【奨学生の背景】

両親は日雇い労働者である。一家は貧窮しており、生活はとても苦しい。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。痩せていて色黒である。好きな科目は算数で、将来は先生になりたいとのこと。学校が終わってから、また休日は家の仕事を手伝っている。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

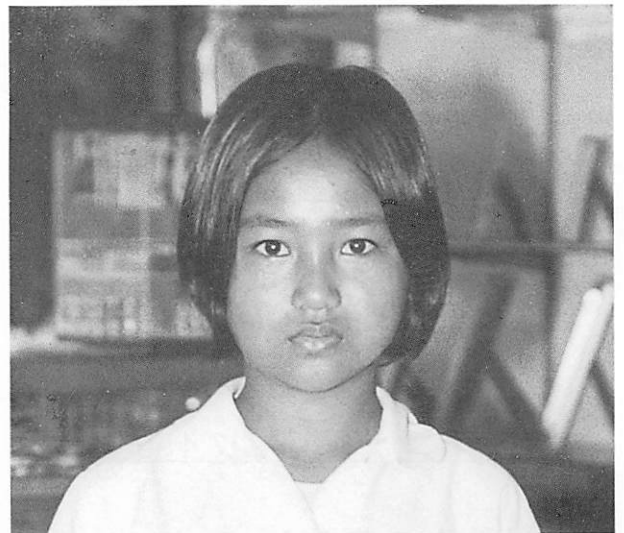
パーウィティー カムトゥー

【生年月日】

1988 / 3 / 19

【学校・学年】

バンワンヤン小学校4年生



【奨学生の背景】

両親は農業を営んでいるが収入は不安定で、扶養しなければならない子どもが3人いる。一家が生活するには収入が十分でなく、親戚からしばしば借金をする。わずかな現金収入は借金の返済に精一杯である。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。勉強熱心な子どもで、父母の言うことも良く聞く。彼女はいつも機嫌がよく健康である。好きな科目は国語で、将来は先生になりたいそう。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

プアーラット カムマンクン

【生年月日】

1990/10/28

【学校・学年】

バンワンヤン小学校1年生



【奨学生の背景】

一家は農業で収入を得ているが、収入は不安定でとても貧しく、生活は困窮している。両親は家族の生活のため、また子どもに教育を受けさせるため、一生懸命働いている。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。彼女はとてもおとなしく、勉強の好きな子どもである。好きな科目は算数で、将来は先生になりたいとのこと。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

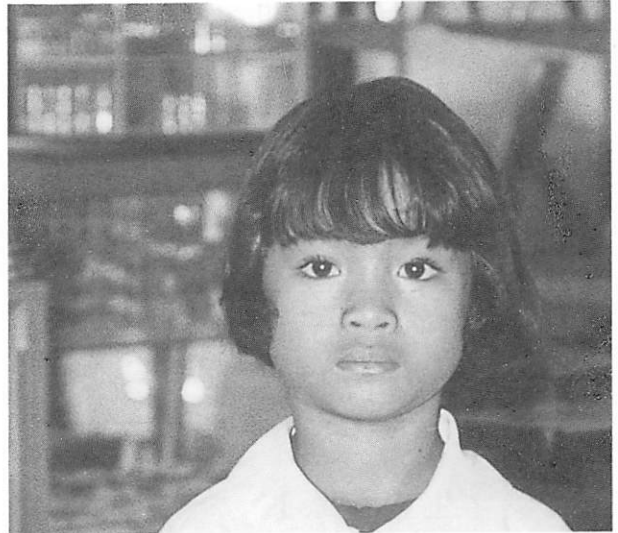
アックソン カムトゥー

【生年月日】

1990/9/10

【学校・学年】

バンワンヤン小学校1年生



【奨学生の背景】

両親は農業を営んでいるが収入は不安定で一家はとても貧しい。父母は祖父の面倒を見なければならず、将来も貧困から抜け出すのは困難と思われる。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。明るく元気で、たくさんの友達に好かれている。勉強も好きで、特に物を作ることや生き物に対してとても興味があり、将来は医者になりたいと考えている。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

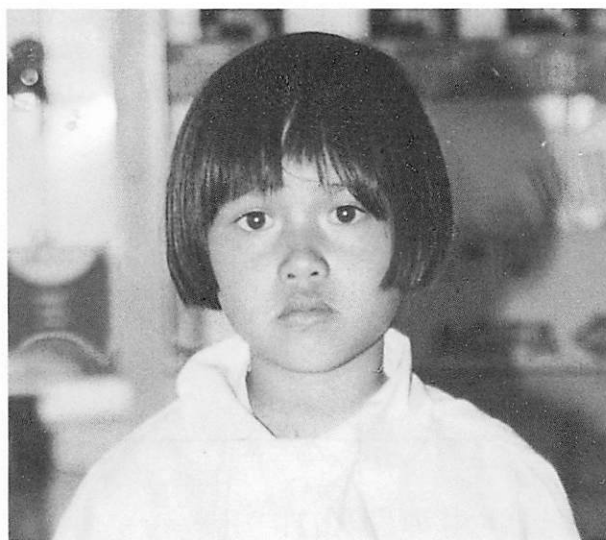
ピーヤヌット カムムンクン

【生年月日】

1988/9/27

【学校・学年】

バンワンヤン小学校3年生



【奨学生の背景】

一家は農業で収入を得ているが、収入は不安定で生活費は一家が暮らして行くには十分でなく、生活費や子どもの教育のため、度々親戚から借金をしている。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。おとなしく、きれいな声で話す子どもである。とても勉強熱心で、好きな科目は国語。将来は医者になりたいとのこと。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

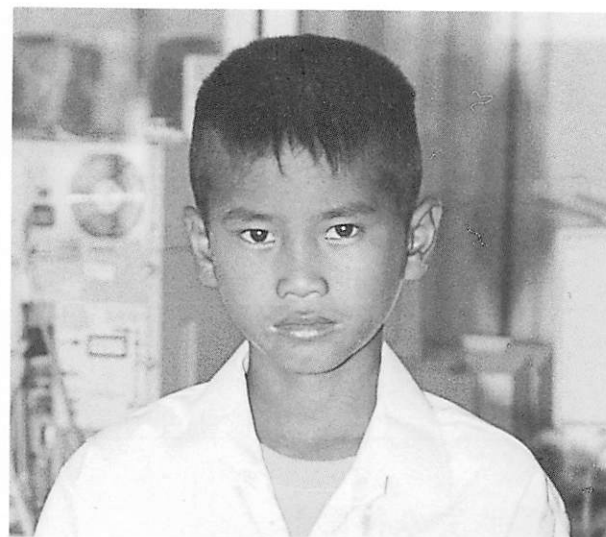
サックチー カムムンクン

【生年月日】

1987/9/15

【学校・学年】

バンワンヤン小学校4年生



【奨学生の背景】

5人家族で、両親は農業を営んでいる。収入はあたりなかつたりで、一家は貧しく、生活はとても苦しい。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。明朗で健康である。好きな科目は算数で、将来は警察官になりたい。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

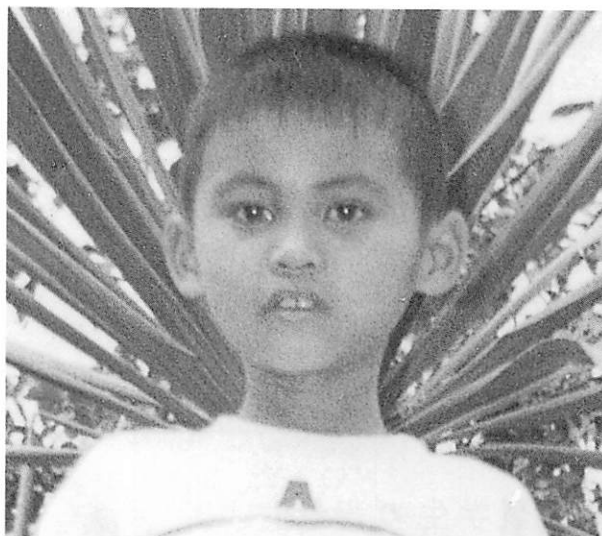
タワツチャイ カムムンクン

【生年月日】

1988/5/27

【学校・学年】

バンワンヤン小学校3年生



【奨学生の背景】

両親は責任をもって2人の子どもを育てている。職業は農業である。収入は不足していて、親戚や友人から借金をしなければならない。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。静な子どもで、あまり話さず表情も表さない。恥ずかしがり屋である。しかし勉学に励み、父母の言うことも良く聞く。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

ヨッドサック セオプーキオ

【生年月日】

1987/8/23

【学校・学年】

バンワンヤン小学校4年生



【奨学生の背景】

家族の状況は両親と2人の兄弟で、家は持ち家だがベニヤ板のトタン屋根で平屋である。就業は畑作業と日雇いをしており、ほとんど収入は足りず、親戚からの借金に頼っており、生活はかなり苦しい。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。2人兄弟の長男で、とても明るく父母の言うことを良く聞く。土日は家事を手伝う。大きくなったら軍人になりたいそうだ。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

ギッティチャイ ゴンケオ

【生年月日】

1990/5/3

【学校・学年】

バンワンヤン小学校1年生



【奨学生の背景】

両親は農業をしていて、収入は不安定である。就学している子どもは1人だけだが、一家は貧しく生活費も不足している。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。明るく健康な子どもである。好きな科目は算数で、大きくなったら警察官になりたいとのこと。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

ジントラー インクエン

【生年月日】

1988/3/5

【学校・学年】

バンワンヤン小学校4年生



【奨学生の背景】

両親は農業を営んでいるが一家はとても貧しい。生活は常に厳しく困っている。収入が絶対的に不足しており、生活状態は痛ましい。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。きちんとした子どもで、まじめに勉強している。好きな科目は算数で、将来は先生になりたいと思っている。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

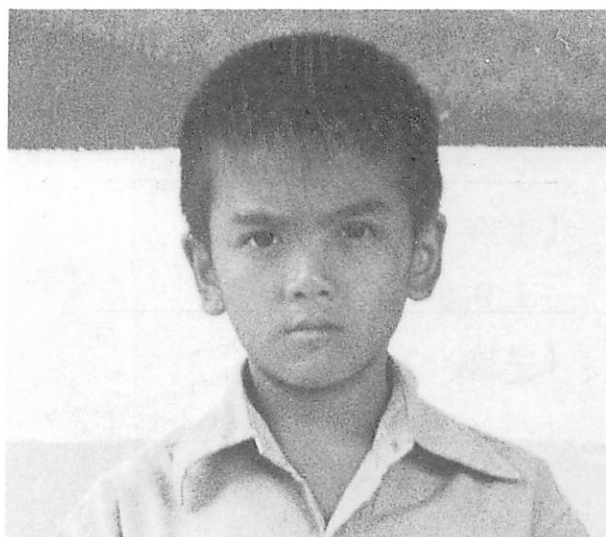
クワンチャイ セエンスター

【生年月日】

1989 / 5 / 25

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 2年生



【奨学生の背景】

両親は離婚、現在は年取った祖父母と共に暮らしている。祖父母は農業を営んでいるが、生活は貧窮しており、いつも近所の人から借金をしているが、いつも貸してもらえない訳ではない。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。良く勉強し、しっかりしているが、両親が離婚しているため、なかなか人に心を開かない。好きな科目は算数で、将来は警察官になりたいそう。休日は家の手伝いをしている。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

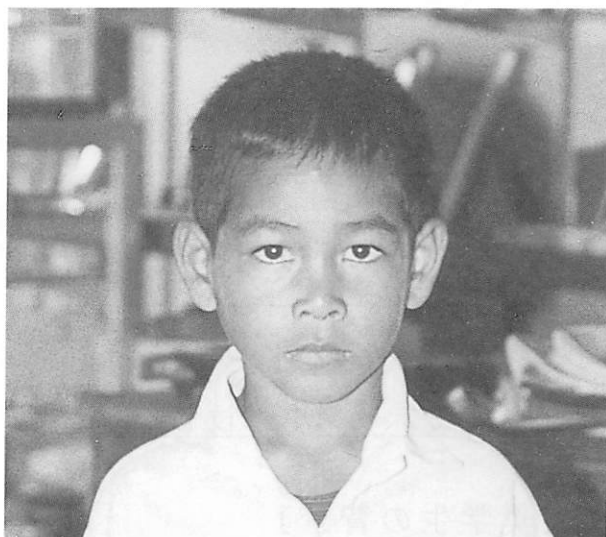
ウィチアン トゥムジンダー

【生年月日】

1987 / 10 / 14

【学校・学年】

バンワンヤン小学校 1年生



【奨学生の背景】

両親は農業をしているが、収入は不安定。一家は貧しく経済的に困窮している。時々親戚から借金をしなければならないが、親戚も同様に貧しく、貸してもらえないこともある。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。彼は友達に対して非常に優しく、とても明るくきちんとしている。好きな科目は社会。将来は警察官になりたい。

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

ルンティプ カムムンクン

【生年月日】

1988/4/16

【学校・学年】

バンワンヤン小学校4年生



【奨学生の背景】

一家は地方に住んでいて、両親は農業を営んでいる。家族は5人で、生活費に対し収入は不足している。親戚から借金をするが、親戚も同様な状態のためしばしば貸してもらえないことがある。

【奨学生の現況と将来の希望について】

彼女はきちんとした子で、まじめに勉強している。両親や先生の言うことを良く聞き、家事の手伝いや妹の面倒もよく見る。好きな科目は算数で、将来は子どもたちを教育する先生になりたいそうだ。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

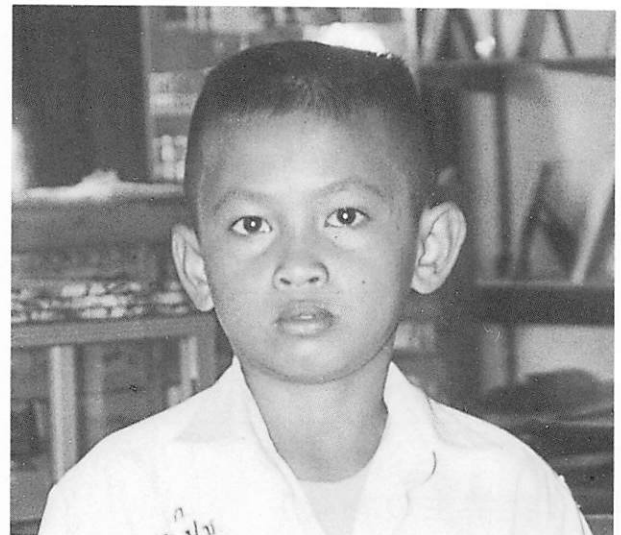
ウィニット センラーチャー

【生年月日】

1989/4/23

【学校・学年】

バンワンヤン小学校2年生



【奨学生の背景】

家族は農業をしており、収入は不安定。生活費は著しく不足している。(2人の子どもが就学中)生活費のため親戚より借金をするが、親戚も貧しいため、何時もとというわけにはいかない。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。きちんとした子で物怖じしない。明朗な子どもである。毎日きちんと通学し、国語が好きである。大きくなったら病気を治す医者になりたいそうだ。



プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

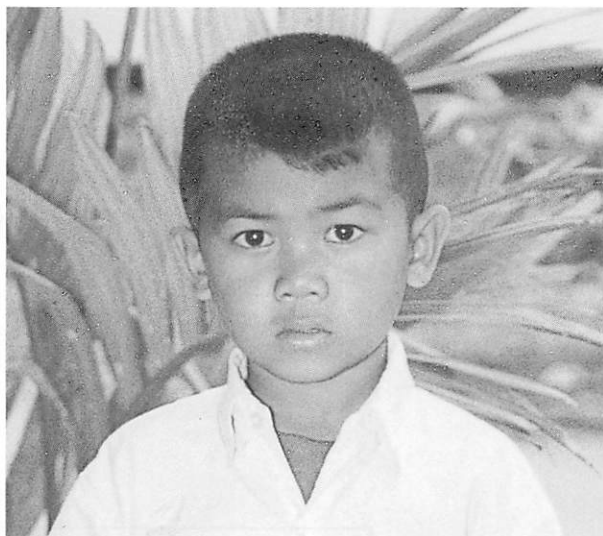
ウィラグン サイヤン

【生年月日】

1990/5/20

【学校・学年】

バンワンヤン小学校1年生



【奨学生の背景】

両親は農業を営んでいる。収入は不安定で、生活は苦しい。両親は農作業がどんなに大変でも、生活を支えるため、また子供達に自分達と同じ苦難をさせないよう教育を受けさせたいと、がんばって働いている。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県在住。明朗で健康。勉強好きで美術が得意である。好きな科目は算数で、将来は警察官になりたいそうだ。放課後はスポーツをしている。

---

プラティープ財団 奨学生

【氏 名】

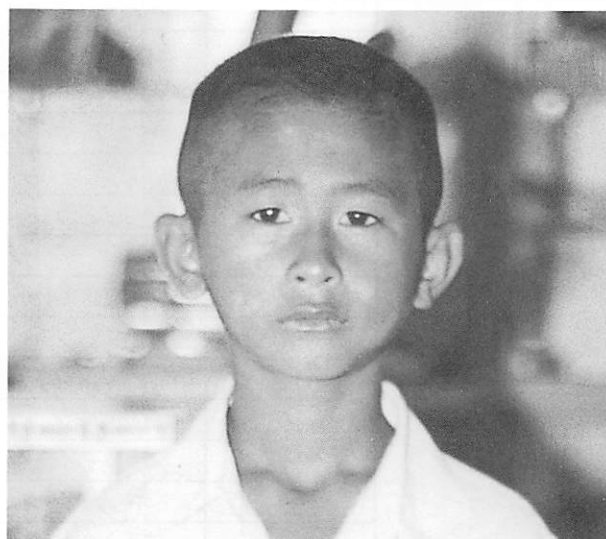
エックガチャイイエムディーガー

【生年月日】

1990/1/27

【学校・学年】

バンワンヤン小学校1年生



【奨学生の背景】

父母は農業をしているが、収入は不足している。何故かというとな彼の姉も就業中で、中学でかかる費用は大きい。このため生活費は不足している。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ルーイ県に住んでいる。真面目に勉強していて、上の学校へ進学したいと思っている。好きな科目は算数で、大きくなったら警察官になりたいと思っている。

# ニューライフプロジェクト

## 奨 学 生

	名 前
1	チューチョード・パンポン
2	ブンチャイ・ランサラパット
3	ウィラワット・サワンスワン
4	ワチラウット・パリーチャーキット
5	ターウォン・ブンヤン
6	スラチャイ・サモーソン
7	ワンペット・カムワーン
8	グリサダー・ペンラック
9	ソンポン・ヌムスック
10	ヨッサポン・ガーブグロン
11	グァグーン・スックタラップ
12	ナワゴン・パジョン
13	ムー・セーウン
14	クリヤングライ・サックサグランラット
15	ウィチャイ・タンソムブーン
16	サムラーン・モァンキィアウ
17	ウィチット・サンカワッタナ
18	ソムキット・オーントウァム
19	ニパン・タクシァン
20	エカラック・モァンキィォウ
21	クワン・タンシァン
22	サーイ・パンラムジャック
23	キッティヤー・ペンラック
24	ワンペン・デチャルット
25	ワパラー・インプラファイ
26	ピロムヤー
27	ジャリヤー・ブンチャリャウ

## ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

チューチョード パンボン

【生年月日】

1978 / 12 / 1

【学校・学年】

【奨学生の背景】

父は死亡。母親が3人の子供を育てなければならず、結局彼を祖母に預けることになった。そのうち友達と一緒にいることが多くなり、覚醒剤をやり始めた。覚醒剤購入のため金を盗むようになり、学校も行かなくなった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

青少年達と一緒に更生していく中で、麻薬をやめることができた。現在プロジェクト施設のボランティアで活躍している。機械の勉強をしてプロジェクト施設の先生になりたいと思っている。



## ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ブンチャイ ランサラパット

【生年月日】

1977 / 1 / 16

【学校・学年】

【奨学生の背景】

家庭の事情で物心つく前に養子として引き取られた。養父には愛情はなく、不平ばかりを言い、彼は煩わしく、悲しくなり麻薬の道に走った。学校も行かなくなり、身体も痩せてきた。養母が見かねてニューライフへ連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

仲間と共に暮らすようになり、麻薬もやめることができた。高校も卒業し、現在日本語の学習に励んでいる。彼は優秀な子で、面倒見も良く、施設内でボランティアとして活躍中。将来は、高度な教育を受け、留学もしてみたい。



ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ウィラワット サワンスワン

【生年月日】

1977 / 12 / 4

【学校・学年】

プロジェクト施設校高等学部



【奨学生の背景】

何時も友達とばかりいた。たばこを吸い、シンナーやヘロインも常用していた。困り果てた両親が、ニューライフへ連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

施設に入居してから、段々変わってきた。タバコ・シンナー・ヘロインから離れることができた。勉学に励み、職業訓練にも励みました。将来は商売をしたいと思っている。

---

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

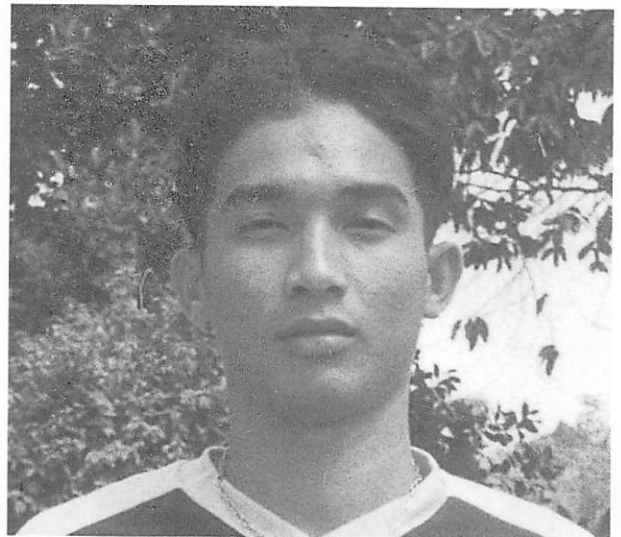
ワチラウット パリーチャーキット

【生年月日】

1978 / 6 / 4

【学校・学年】

プロジェクト施設校高等学部



【奨学生の背景】

友達と一緒にタバコを吸い覚醒剤もやり始めた。当時は何を言っているのかわからず、学校も行かなくなり、麻薬を買うため家の金を盗むようになった。困り果てた母親が、ニューライフに連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

何事も熱心で才能もあり、現在高校の授業に励んでいる。また機械方面に於いて南タイ全域の中で優秀な成績を修めている。将来はモーターバイクショップの店を持ちたいと思っている。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ターウォン ブンヤン

【生年月日】

1982 / 10 / 2

【学校・学年】

プロジェクト施設校中等学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。母親に引き取られたが、母親は生計のため働くようになり、彼との時間が無くなった。彼は寂しさから、タバコ・シンナーそして麻薬をやり始めた。金遣いも荒く、困った母親がニューライフに入居させた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

施設に入居してから徐々に更生でき、勉強もするようになった。将来はエンジニアになりたいと思っている。

---

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

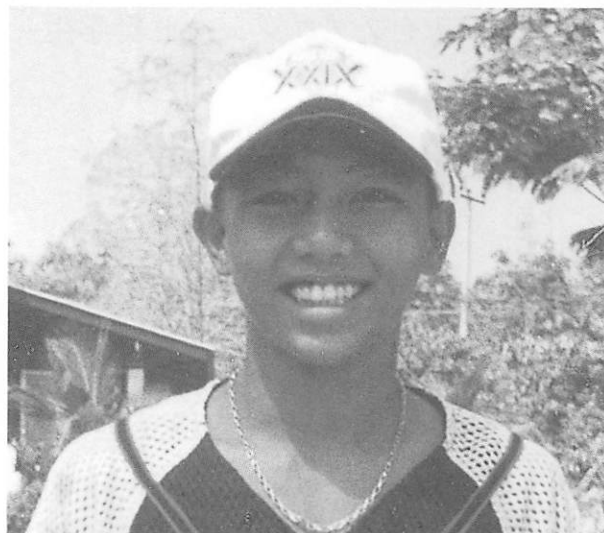
スラチャイ サモーソン

【生年月日】

1982 / 2 / 4

【学校・学年】

プロジェクト施設校中等学部



【奨学生の背景】

家庭は貧しく、彼を学校へ行かせることができず、また面倒を見る時間も無かった。友達と一緒にいる時間が多く、タバコ・シンナーを常用し少年院へ5回送られた。喧嘩好きで、両親の言うことも聞かない子供であった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

施設で生活するようになり、麻薬もやめられた。現在中学の勉強に励み、タイの伝統的太鼓（グロレヤール）を上手に演奏し、青少年のリーダーとして活躍中。将来はパイロットになりたい。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

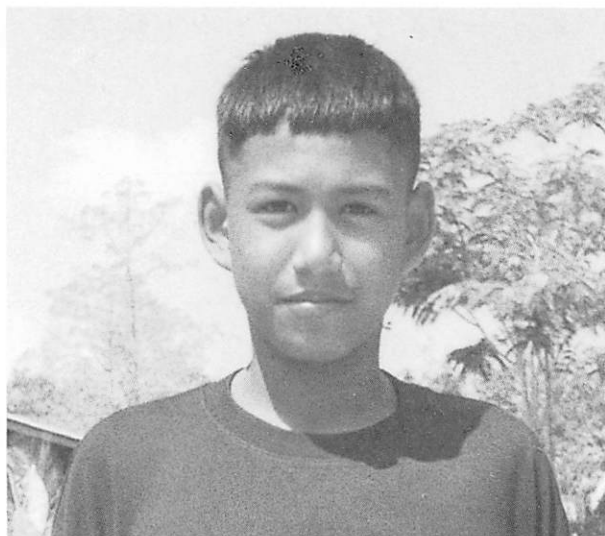
ワンペット カムワーン

【生年月日】

1983/6/22

【学校・学年】

プロジェクト施設校小学部



【奨学生の背景】

2歳の時に父が死亡。母親が働いて子供達を育ててきたが、あまり子供達と一緒に時間がいない母親は、彼をプロジェクト施設に入居させた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

施設では、きちんとして生活している。友達の世話をよくする性格の明るい子供。将来は、車の修理工になりたと思っている。

---

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

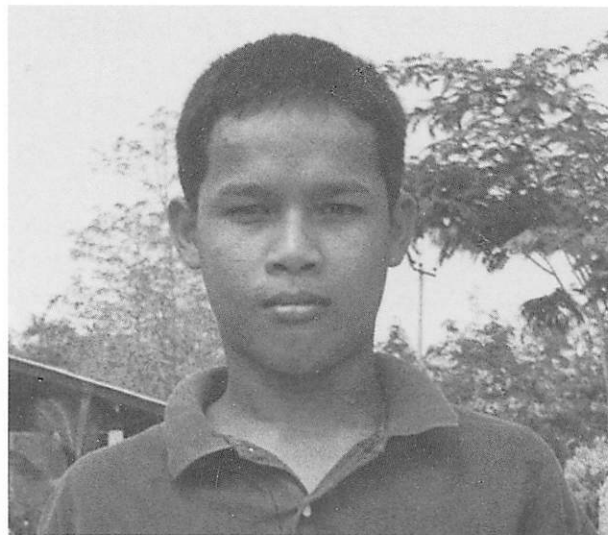
グリサダー ペンラック

【生年月日】

1981/9/18

【学校・学年】

プロジェクト施設校中等学部



【奨学生の背景】

父親が死亡してから、母親は6人の子供を育てることになり、非常に厳しい状況だった。母親の愛情を分けてもらえない彼は、友達と遊び、学校へ行かなくなった。将来が心配になった母親がニューライフへ連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

すぐに施設での生活に慣れ、性格も明るくとても勤勉。将来は公務員として、特に電気関係の仕事をしたいそうだ。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

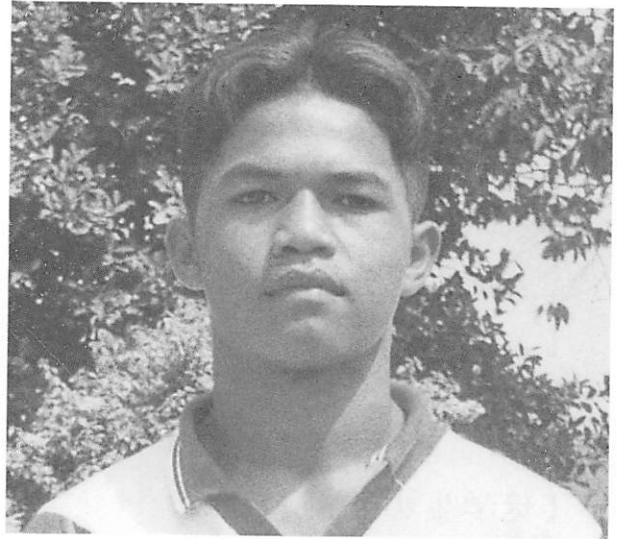
ソンボン ヌムスック

【生年月日】

1980 / 2 / 9

【学校・学年】

プロジェクト施設校高等学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。子供達は地方の親戚に預けられた。しかし親戚の生活状況は貧しく、また非常にいじめられることが多かったりという事情で施設への入居を希望してきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

施設に来て勉強するチャンスがあり、現在高校の学業に励んでいる。将来は通訳業につき、プロジェクトで通訳の必要なときに手伝いたいと思っている。

---

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ヨッサポン ガーブグロン

【生年月日】

1987 / 2 / 19

【学校・学年】

プロジェクト施設校小学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。貧しい家庭状況で愛情にも飢え、また周囲も麻薬常用者が多く、環境は最悪であった。母親はゴミ収集で忙しく彼との時間はなかった。彼は友達と一緒に時間が多くなり、タバコや盗みをはじめた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

施設では規律を守る子として生活している。性格も明るく、何事も一生懸命で、先生の言うことも良く聞く。将来は車の整備工をして、母親の面倒を見たい。

## ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

グァグーン スックタラップ

【生年月日】

1979 / 7 / 12

【学校・学年】

プロジェクト施設校中等学部



【奨学生の背景】

父親が死亡後、母親は再婚のため彼を叔父に預けた。親の愛情をなくした彼は、自分を理解してくれる友達を求めた。しかし友達から勧められたタバコやヘロインで寂しさを紛らわした。盗みも働き警察に捕まった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

困り果てた母親が入居を希望してきた。現在はヘロインも止め、学業も中学校の勉強に励んでいる。将来は美術方面の勉強をしたいと思っている。

---

## ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

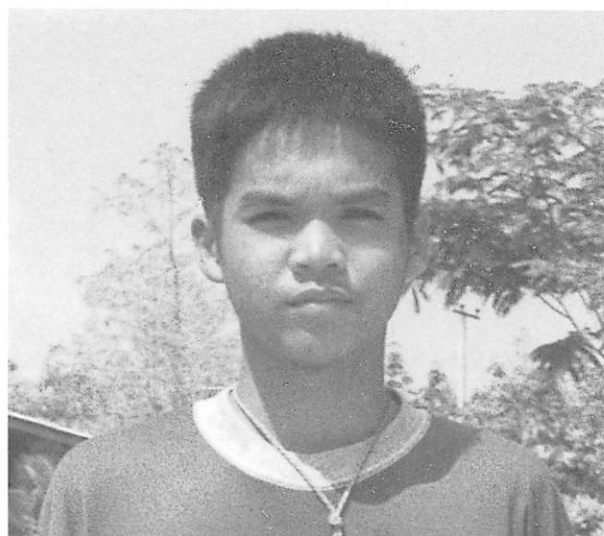
ナワゴン パジョン

【生年月日】

1982 / 7 / 1

【学校・学年】

プロジェクト施設校中学部



【奨学生の背景】

貧しい東北部から都心の工場に働きにでてきた両親だが、共働きで子供の面倒を見られず、彼は友達を求めて出歩き、麻薬の仲間入りをするようになった。両親の働き先の工場長の紹介でニューライフへ入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

施設で生活をはじめ、麻薬を止めることができた。性格は明るく話し上手な青年。将来は家具職人になり、自分の工場を持ちたいと思っている。



ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ムー セーウン

【生年月日】

不明 (14歳)

【学校・学年】

プロジェクト施設校中等学部



【奨学生の背景】

彼は孤児で、名前は養父母が付けた。彼の実母は養母に彼を預けたまま去ってしまった。困難な生活をしてきた彼は、ある日何かの行事で沢山のお金を見て、手に取って見たくなり盗みを働いてしまった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

警察から児童福祉所へ送られ、そこからニューライフへ送られてきた彼は、現在中学校の勉強に励んでいる。将来はニューライフプロジェクトのボランティアをして、青少年の指導をしたいと思っている。

---

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

クリヤングライ サックサグランラット

【生年月日】

1985 / 7 / 3

【学校・学年】

プロジェクト施設校小学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。彼と姉妹は祖母と一緒に暮らすことになった。祖母は年老いてきて収入も少なく、また母親は再婚し別に暮らしている。彼は学校へも行かなくなり、食べる物にも困り、お金もないため学校から完全に去ってしまった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在プロジェクト施設校で勉強でき、また1日3食の食事をとることができる。将来は軍人になってタイ国民のために頑張りたいと思っている。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ウィチャイ タンソムブーン

【生年月日】

1982 / 7 / 25

【学校・学年】

プロジェクト施設校小学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。母親が4人の子供達を引き取った。彼は母親のため家事を良く手伝った。しかし小柄な彼は、学校でいじめられ、段々学校へ行かなくなった。周囲の環境は麻薬の密売・常用といった劣悪の状態であった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

母親は、彼が麻薬に走らないようニューライフへの入居を希望。彼は性格が明るく、とても可愛い。何時も友達に対して親切だ。将来は、軍人になりたいと思っている。

---

ニューライフプロジェクト奨学生

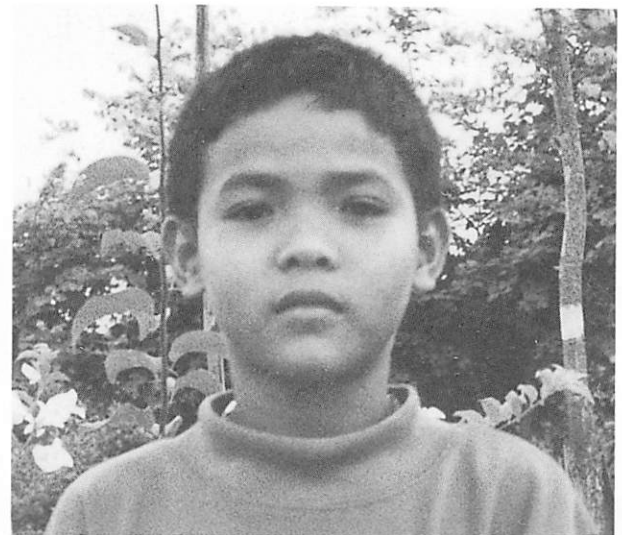
【氏 名】

サムラーン モァンキアウ

【生年月日】

1986 / 3 / 12

【学校・学年】



【奨学生の背景】

母親は病弱で歩くことができない。父親は家を出て再婚をした。兄が家計を支えるため働いたが、学校に行けるほど収入はなく、食べることにすら困難であった。学校も退学を余儀なくされた。シンナーにも手をつけた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

心配した母親がニューライフへ入居させた。現在彼は、先生や仲間から学んで字の読み書きができるようになった。来年度より小学3年生から勉強する。

## ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ウィチット サンカワッタナ

【生年月日】

1984 / 11 / 10

【学校・学年】

【奨学生の背景】

母親は知的障害と病弱のため自分のこともできない。ある時、母親はレイプされ彼を妊娠。出産後育てることはできず、祖父に預けたが年老いているため養育は困難をきたし、地方の親戚に世話を頼んだ。

【奨学生の現況と将来の希望について】

祖父は勉強が続けられるよう、ニューライフへ入居させた。現在小学校の勉強に励んでいる。彼は他の子供よりも多少ゆっくりと学んで行かなければならない。また、教師も特別な指導をしなければならない。



---

## ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ソムキット オントウアム

【生年月日】

1989 / 9 / 3

【学校・学年】

未就学

【奨学生の背景】

彼に会いに行ったときは、酷く痩せており、居場所も狭く、虫歯だらけの彼を見てひどく悲しくなった。祖母は耳が悪く盲目で、同居の叔父は運河や下水などからコインを探すことをしていた。彼の面倒は誰も見ていなかった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

彼はあまりはっきりした話し方ができず、斜視である。現在スタッフから話し方や読み方などの訓練を受けている。いずれ小学校への入学もできると思う。将来は、できるだけ高度な教育を受け、妹の世話をしたい。



ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

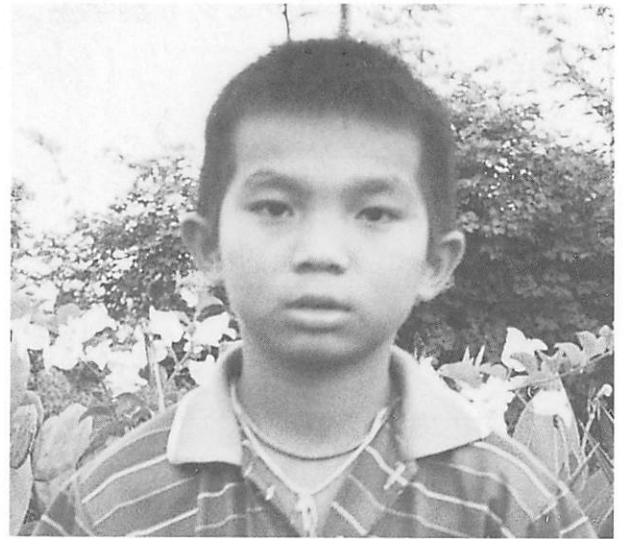
ニパン タンシァン

【生年月日】

不明 (10歳)

【学校・学年】

ウトゥンサーラー小学校



【奨学生の背景】

両親は離婚。それぞれに再婚をしたが子供4人は祖母の元に置き去り。祖母も高齢のため、叔母が面倒を見ていた。しかし叔母も子供がいて、経済事情は厳しく、食べることも困難で、学校にも行けなかった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

孫達の状況を心配した祖母は、プラティープ財団に相談。プロジェクトの施設に入り、現在近くの小学校で4年生の勉強に励んでいる。将来はできるだけ高度な教育を受けたいと思っている。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

エカラック モァンキィャウ

【生年月日】

1987/10/12

【学校・学年】

未就学



【奨学生の背景】

母親は病弱で歩くことができない。父は家を出て再婚をした。兄が働いて家計を助けたが、授業料や教科書代の捻出は困難で、学校へ行くことができなかった。友達と遊び家に帰らず、麻薬をやるようになった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

心配した母親がニューライフへ入居させた。現在彼は、スタッフや先輩から指導を受けて、字の読み書きができるようになった。来年度から就学できると思われる。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

クワン タンシァン

【生年月日】

不明 (8歳)

【学校・学年】

ワトゥンサーラー小学校



【奨学生の背景】

両親は離婚。それぞれに再婚をしたが子供4人は祖母の元に置き去り。祖母も高齢のため、叔母が面倒を見ていた。しかし叔母も子供がいて、経済事情は厳しく、食べることも困難で、学校にも行けなかった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

孫達の状況を心配した祖母は、プラティープ財団に相談。プロジェクトの施設に入り、現在近くの小学校で1年生の勉強に励んでいる。将来はできるだけ高度な教育を受けたいと思っている。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

サーイ パンラムジャック

【生年月日】

1985 / 11 / 19

【学校・学年】



【奨学生の背景】

両親は離婚。それぞれに再婚をしたが子供4人は祖母の元に置き去り。祖母も高齢のため、叔母が面倒を見ていた。しかし叔母も子供がいて、経済事情は厳しく、食べることも困難で、学校にも行けなかった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在ニューライフプロジェクト・カンチャナブリの施設でスタッフから学んで字の読み書きができるようになった。来年度より小学5年生の勉強をスタートする予定。将来は高度な教育を受けたい。卒業したら歌手になりたい。

ニューライフプロジェクト奨学生

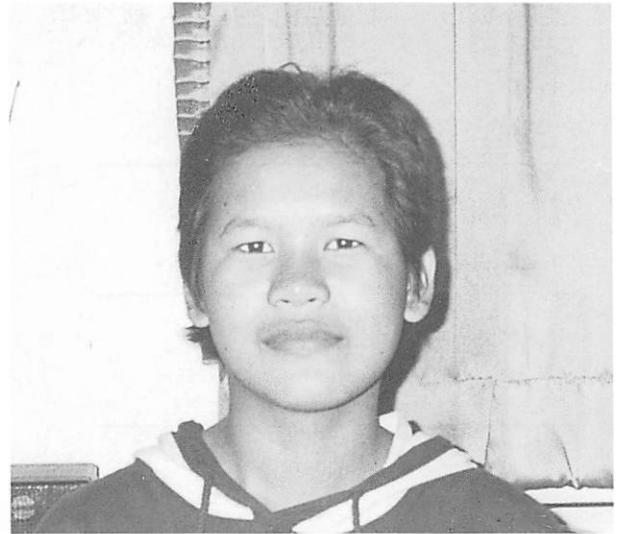
【氏 名】

キッティヤー ペンラック

【生年月日】

不明 (14歳)

【学校・学年】



【奨学生の背景】

家庭の経済事情が厳しく、父親死亡後、母親が生計をたてていたが、子供達との時間もなくなり、この子は麻薬常用者の友人と方に行ったが、勧められても麻薬は拒否していた。母は連れ戻すため警察の協力を受けた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在彼女は、新たに入居してくる幼い子供達の面倒を見るお姉さんという役目をしている。また、勉強の方も中学校の授業を受けたいと思っている。将来は高度な教育を身につけ、母親や妹弟の世話をしたい。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

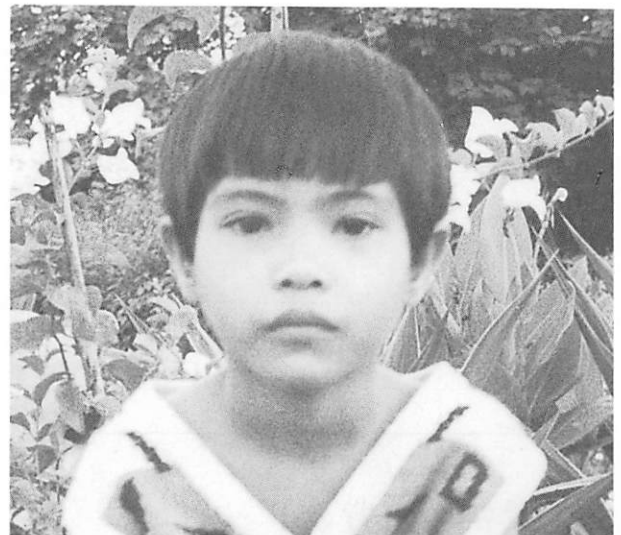
ワンペン デチャルット

【生年月日】

1990/11/2

【学校・学年】

未就学



【奨学生の背景】

新聞でわずか7歳の子が強姦されているという記事を見て、スタッフが会いに行ったとき、酷く痩せ、虫歯だらけで居場所も狭く、何回も強姦されたこの子は話さない子になっていた。子供の遊びにも興味を示さなかった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在彼女は、よく話すようになり、友達とも遊んだり非常に明るい子供になってきた。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ワラパー インプラファイ

【生年月日】

1987 / 12 / 26

【学校・学年】



【奨学生の背景】

両親は離婚。父親は家族のことに無関心、母親は売春婦をしていたが再婚。義母は彼女を虐待し、彼女の脳機能に障害をもたらせた。彼女は現在4歳程度の知能。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ニューライフプロジェクト・カンチャナブリへ入居してから、精神状態も少しずつ良くなってきた。たとえ皆より速度が遅くても、彼女は一生懸命頑張っている。将来は、皆から愛される素晴らしい人になりたいと思っている。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

ピロムヤー (警察で名付)

【生年月日】

不明 (5歳位)

【学校・学年】



【奨学生の背景】

親とはぐれて3ヶ月間警察で保護されていた。タイ語はできず、カンボジア語で話す。両親と離れてから、誰かに拾われ乞食として働かされ、お腹にタバコで虐待された後があり、お菓子を1個ずつもらう生活をしていたらしい。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在この子は、タイ語を話せるようになり、スタッフから色々な指導を受けている。将来は、タイ語の学習と会話に励み、タイ人になりたいそうだ。

ニューライフプロジェクト奨学生

【氏 名】

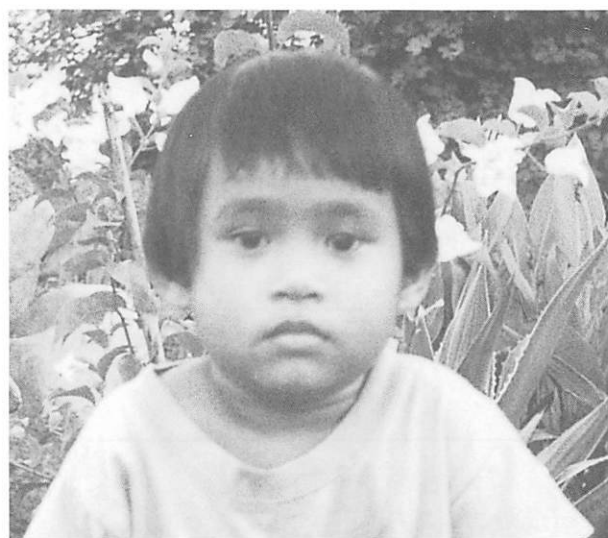
ジャリヤー ブンチャリャウ

【生年月日】

1993/8/11

【学校・学年】

未就学



【奨学生の背景】

父親はヘロインの常用者で、それを手に入れるため母親が盗みなどをして警察に捕まるまで続けていた。両親はこの子の世話をせず、祖母が面倒を見ていたが、食べる物は全く得られなかった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在この子は、よく話すようになった。記憶力も良く賢い子である。プロジェクト施設では、一番年齢が低く、自分のことを一人で完全にすることはまだできない。将来は、先生になりたいと思っている。



# ニューライフプロジェクト

## 一時支援奨学生

	名 前
1	スタット・グリーンパヨム
2	ワサン・ルァンリット
3	ソンブーン・ティアロットノム
4	アナン・イッティワタナグン
5	パイロート・チュアモードゥー
6	ポンサック・ガートプラガーイ
7	ピッタ・ジャンフプレーンセーン

ニューライフプロジェクト一時支援

【氏 名】

スタット グリンパヨム

【生年月日】

1976 / 11 / 21

【学校・学年】

プロジェクト施設校中学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。幼少より叔父の元で暮らしていたが、物売りをしていた叔父は、彼の世話をする時間がなく、必然的に友達との時間が多くなり、勧められた麻薬（ヘロイン）を常用するようになっていた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在は、完全にヘロインを止めることができた。彼は性格のよい子で、何事も熱心に取り組み、仲間の面倒もよく見る。

ニューライフプロジェクト一時支援

【氏 名】

ワサン ルアンリット

【生年月日】

1976 / 10 / 24

【学校・学年】

プロジェクト施設校高等学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。それぞれに再婚をし、当初父親と暮らしていたが、料理の勉強をしたいという希望を反対され、そのうち学校も行かなくなり、友達と覚醒剤を常用するようになった。心配した母親が連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在は、覚醒剤も止めることができ、高校生のお勉強に励んでいる。性格も良く、友達思いの子である。将来は、自分で経営するレストランを持ちたい。

ニューライフプロジェクト一時支援

【氏 名】

ソンプーン ティアロットノム

【生年月日】

1982 / 11 / 18

【学校・学年】

プロジェクト施設校中学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。母親と一緒に住んでいたが、学校へ行きたがらず、友達と一緒にいることが多くなり、その友達にもうそを言ったり、物を盗んだりして少年院へ送られた。出てきても以前より荒々しくなっていくばかりだった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在は、性格も穏やかになり、一生懸命勉強しようとしている。友達とも信頼関係が持てるようになってきた。将来は、人のためになるような警察官になりたいそうだ。

ニューライフプロジェクト一時支援

【氏 名】

アナン イッティワタナグン

【生年月日】

1979 / 6 / 16

【学校・学年】

プロジェクト施設校高等学部



【奨学生の背景】

両親は離婚。母親が家計を支えていたが、仕事のため彼の面倒を見る時間がなく、彼は友達との時間が多くなっていった。覚醒剤をやり始め、それを買うために盗みをするようになった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

同じような事情の子供達と一緒に暮らす中で、彼の生き方も変わってきた。現在、高校の勉強に励み、健康的で明るい性格になった。将来は、母親の商売を手伝い、妹の勉強の援助をしたい。

ニューライフプロジェクト一時支援

【氏 名】

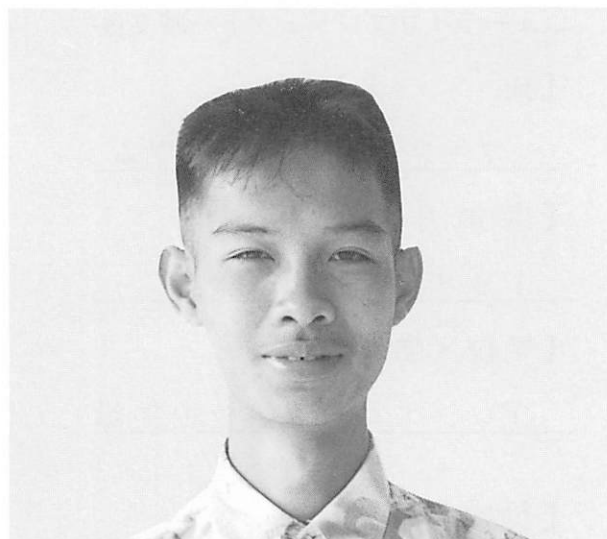
パイロート チュアモードゥー

【生年月日】

1976 / 4 / 19

【学校・学年】

プロジェクト施設校高等学部



【奨学生の背景】

以前にプロジェクト施設で更生したことがあるが、両親が家に連れ帰り、職業訓練校へ入学したが、また以前の友達と一緒にいることが多くなった。麻薬をやりだし、学校へは行かなくなった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在彼は、あらゆる麻薬から更生できるようになった。勉強も来年度から高校の授業を予定している。将来は、できる限り多くのことを学んでいきたいと思っている。

ニューライフプロジェクト一時支援

【氏 名】

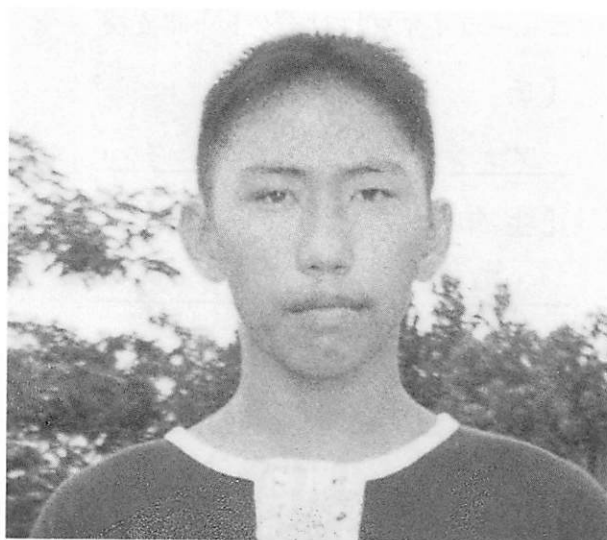
ポンサック ガートプラガーイ

【生年月日】

1979 / 9 / 24

【学校・学年】

プロジェクト施設校高等学部



【奨学生の背景】

小学4年生からタバコを吸い始め、6年生で酒を飲み始めた。中学校でも酒やタバコを常用し、家や近所の金を盗み警察に捕まった。少年院へ送られたが、更生している様子は見られなかった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

施設で生活するようになって、今までのことを全て止めることができた。現在、中学の勉強に励んでいる。将来は、自分で店を持って商売をしたいそう。

ニューライフプロジェクト一時支援

【氏 名】

ピッタ ジャンプレーンセーン

【生年月日】

1979 / 5 / 27

【学校・学年】

プロジェクト施設校 中学部



【奨学生の背景】

両親は彼の欲しがる物を全て与え、何時も彼に感心を寄せていた。それが疎ましく、仲間と一緒に時間が多くなっていき、覚醒剤やヘロインを常用し、学校へ行かなくなっていった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

現在の彼は、麻薬からも立ち直り、これからは良い人になるよう頑張ろうとしている。両親や自分のために、そして友達のためにも一生懸命勉強したいと思っている。

# パンニャ・メッター子どもの家

## 奨 学 生

	名 前
1	アルパナ
2	クシャル
3	サンジャヤ
4	シルダン
5	ラケーシュ
6	アモール
7	マチンドラ
8	ヴィッディヤ
9	スミト
10	スワプニル
11	キショール
12	アジト
13	サチン
14	ディリープ
15	マヘンドラ
16	アルャナ
17	ヴィシャル
18	ワスデオ
19	ティリラトナ
20	スシュマ
21	アスマタ
22	ラクシト
23	マヘーシュ
24	マンゲシュ
25	ゴータム
26	ヴィシャカ
27	シーマ
28	ウジュワラ
29	ナリニ
30	ディーパ
31	ラジュ
32	アジャヤ
33	マノハル
34	ニテシュ
35	ニャネシュワル

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

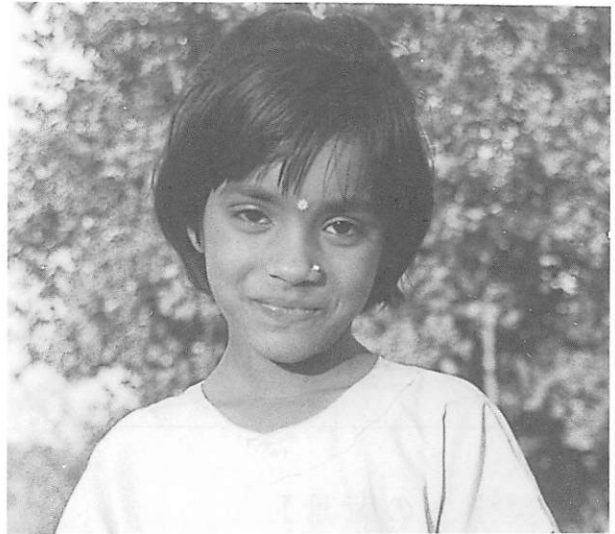
アルパナ

【生年月日】

1988/9/3

【学校・学年】

小学校 2年生



【奨学生の背景】

父親は死亡。母親が日雇い労働をして養育していた。  
テケパル村出身（子供の家より30km）出身。兄のヴィシャルと共に入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

来た当初は、殻に閉じこもって皆と一緒にいたがらなかったが、少しずつ皆の中に入るようになった。「私は先生になりたい。なぜなら、教育がとても大事だと思うから。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

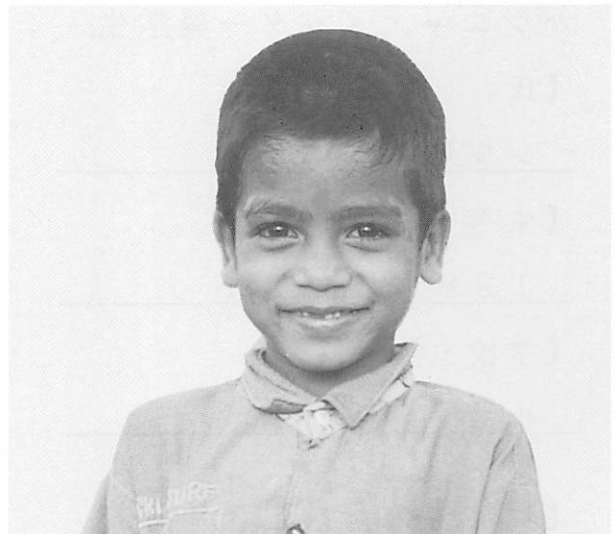
クシャル

【生年月日】

1991/3/31

【学校・学年】

小学校 2年生



【奨学生の背景】

ポーニ市内（子供の家より5km）出身。  
両親はいるが、両方精神障害で、現在行方不明。祖父が養育していた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

ここに来るまでは、親戚をたらい回しにされていた。その記憶が抜けず、なかなか家の外に出たがらなかった。しかし、現在では外出できるようになった。「パイロットになって世界中を飛び回りたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

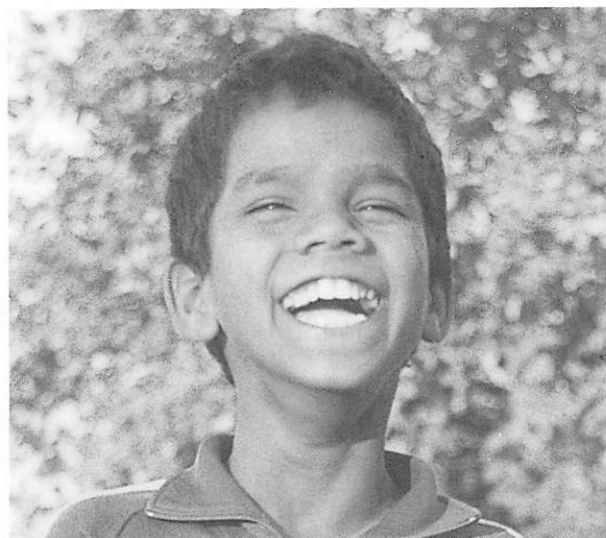
サンジャヤ

【生年月日】

1986/12/5

【学校・学年】

小学校 2年生



【奨学生の背景】

チチケダ村（子どもの家より20km）出身。  
両親は死亡。姉に養育されていたが、姉が嫁ぐため養育者がなく入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

知的障害があり、一番長く実家を離れて淋しさを持っていた。最近では、それもなくなった。「ぼくは、音楽の世界で生きたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

シルダン

【生年月日】

1988/12/5

【学校・学年】

小学校 2年生



【奨学生の背景】

ナグプール市（子どもの家より90km）出身。  
母親は死亡、父親は所在不明。祖母に養育されていた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

身体が一番小さいので、内向的になるかと思われたが、我々の意に反している。「獣医になって動物の世話をしたい。」



パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

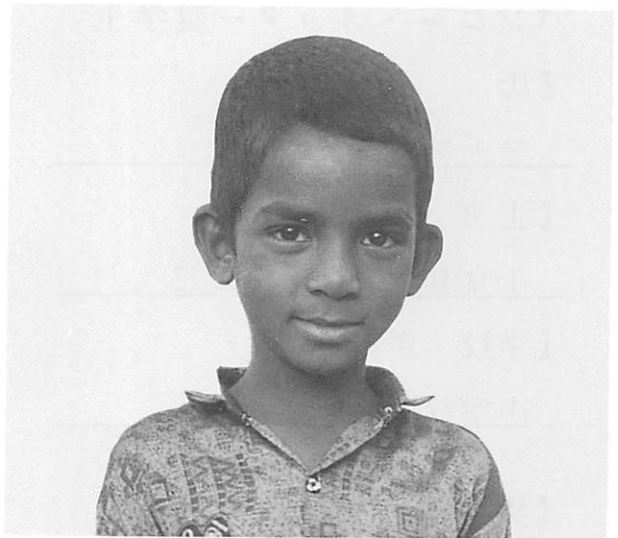
ラケーシュ

【生年月日】

1988/6/27

【学校・学年】

小学校 2年生



【奨学生の背景】

ウムレド市（子どもの家より45km）出身。  
父親は死亡し、母親が日雇い労働をして養育していたが、養育に困り母親が入居を希望し連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

自分の殻に籠もっていたが、ようやく、内弁慶まできた。  
「会社を作って、困っている多くの人に職をあげたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

アモール

【生年月日】

1988/3/10

【学校・学年】

小学校 2年生



【奨学生の背景】

ナクプール市（子どもの家より90km）出身。  
父親は死亡、母親が日雇い労働をして養育していた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

カーストの上層の子どもであるが、他の子どもと全く同じ日常を送っている。  
「上級書記官になりたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

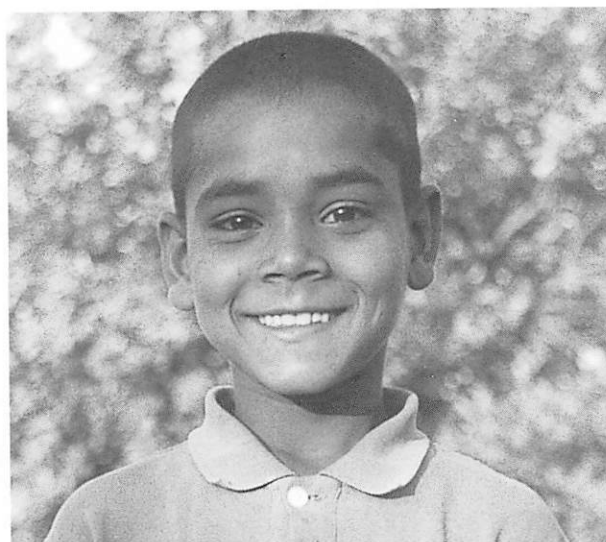
マチンドラ

【生年月日】

1987/12/12

【学校・学年】

小学校 1年生



【奨学生の背景】

プヤル（子どもの家より40km）出身。  
両親は死亡。兄のマヘンドラと共に入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

兄弟で来ているが、兄と共に行動するより、同じ年の子どもと行動している。  
「俳優になりたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ヴィッディヤ

【生年月日】

1988/8/9

【学校・学年】

小学校 2年生



【奨学生の背景】

ブランマプリ（子どもの家より40km）出身  
母親は死亡、父親は行方不明。養育していた祖母が連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

女子の中で一番社交性がある。  
「学校を運営して、多くの子供達に高等教育を受けさせてあげたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

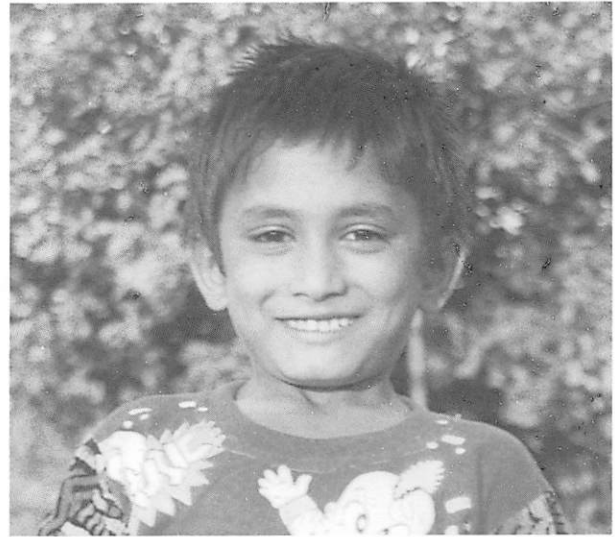
スミト

【生年月日】

1988/11/14

【学校・学年】

小学校 3年生



【奨学生の背景】

ナグプール市（子どもの家より90km）出身。  
両親は死亡。養育していた祖母が連れてきた。兄のスワプニルが同居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

子どもの家の宴会屋。  
「音楽を勉強したい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

スワプニル

【生年月日】

1990/1/2

【学校・学年】

小学校 3年生



【奨学生の背景】

ナグプール市（子どもの家より90km）出身。  
スミトの兄。両親は死亡し、養育していた祖母が連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

性格は弟と反対で、理知的。  
「ジャングルで仕事をし、周りを青々とさせ、動物を守りたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

キショール

【生年月日】

1982/5/7

【学校・学年】

小学校 4年生



【奨学生の背景】

シンドプリ村（子どもの家と同村）出身。  
子どもの家を始める前より、寺院を出たり入ったりしていたが、両親の了解を経て入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

家に来る前は、学校で悪いことばかりしていたため、復学させるとき校長先生が復学を拒んでいた。3年たった今、学校きっての優等生。  
「農学校を出て、近代的に農業をやりたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

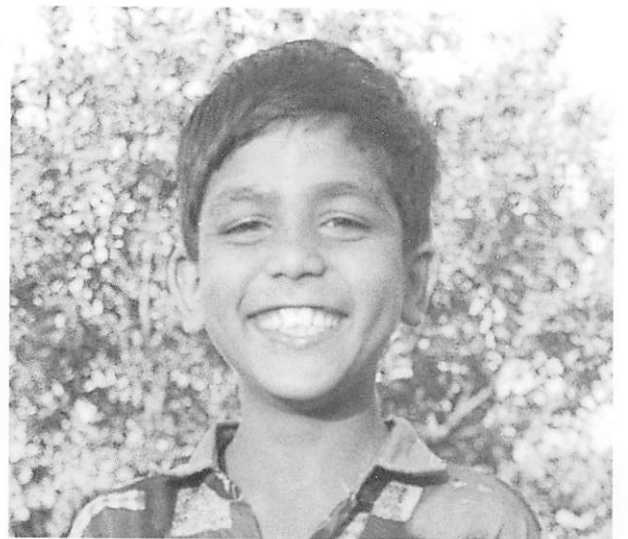
アジト

【生年月日】

1987/5/10

【学校・学年】

小学校 4年生



【奨学生の背景】

ドンガルガドゥ市（子どもの家より150km）  
両親は健在であるが、子どもの家の環境の中で勉強したくて入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

違う言葉の州から来たので、最初は言葉で苦しんだが、3年ですっかり馴染んでしまった。  
「インド社会を改善できるような立派なお坊さんになりたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

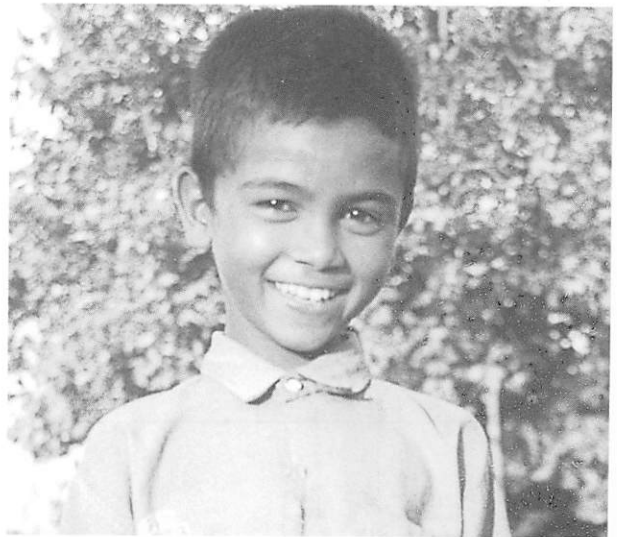
サチン

【生年月日】

1986 / 12 / 7

【学校・学年】

小学校 4年生



【奨学生の背景】

ナグプール市（子どもの家より90km）出身。  
母親は死亡。父親は精神障害があり、現在は行方不明。叔父に連れられてきたが、半年位で脱走し、町の茶店で皿洗いをしていた。1996年に自主的に戻ってきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

脱走して、世の中の冷たさを実体験してきただけに、成長するのが早い。  
「エンジニアになって、大きな橋やビルを造りたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

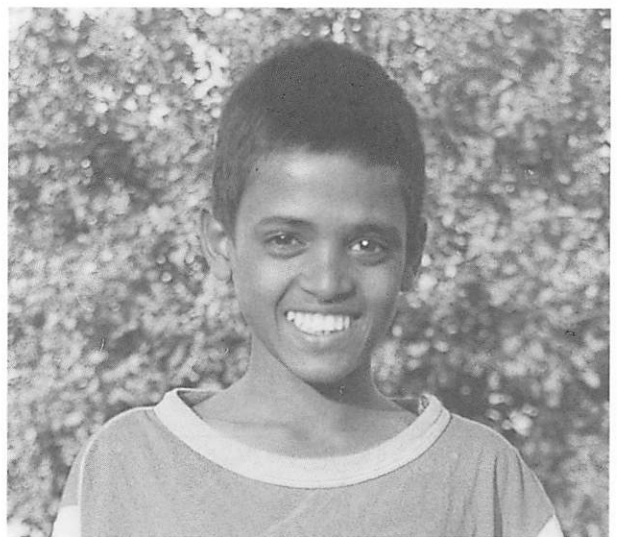
ディリーブ

【生年月日】

1983 / 2 / 3

【学校・学年】

小学校 4年生



【奨学生の背景】

センドゥリ村（子どもの家より20km）出身。  
両親は死亡、相次いで姉も死亡。祖父であるシンドプリ村の村長に連れられてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

両親などを亡くし、天涯孤独になった。一以上草花、葉っぱや根っこなど、食べられそうな物は全て食べていた。当初はそれが抜けなかった。現在は、皆と一緒に食事をしている。「国家公務員になりたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

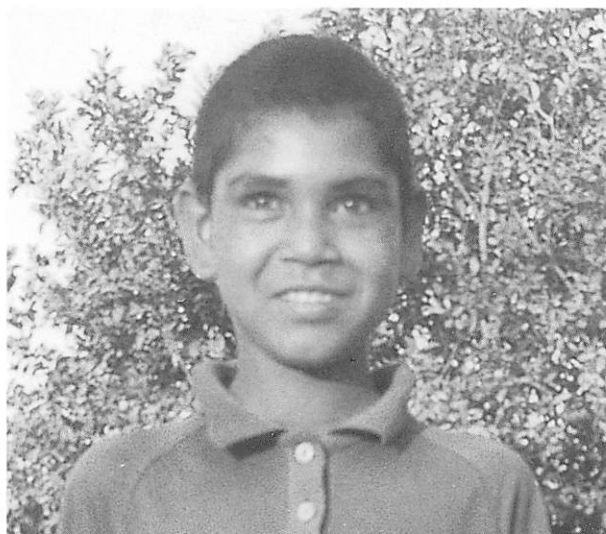
マヘンドラ

【生年月日】

1984/10/2

【学校・学年】

小学校 4年生



【奨学生の背景】

プヤル（子どもの家より40km）出身。  
両親は死亡。弟のマチンドラと共に入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

家に来る前まで、弟を養っていた。そのため、他の子供達の面倒もよく見ている。  
「美術を勉強して画家になりたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

アルャナ

【生年月日】

1988/8/15

【学校・学年】

小学校 4年生



【奨学生の背景】

マレガオ村（子どもの家より30km）出身。  
母親は死亡、父親が再婚したが、継母は彼女を酷く虐待し、そのひどさを見かねて父親が連れてきた。姉のシーマと共に入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

最初に来た7人のうち一番小さかったので、皆に可愛がられたため今でも甘えん坊。  
「医者になって貧しい人の世話をしたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ヴィシャール

【生年月日】

1986 / 4 / 14

【学校・学年】

小学校 4年生



【奨学生の背景】

テケパル村（子どもの家より30km）出身。  
父親は死亡。母親が日雇い労働をして養育していたが、1995年、妹のアルパナと共に母親が連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

二度ほど脱走しかけて舞い戻ってきた。今は落ち着いている。  
「ぼくの周りに今まで亡いような新しい工場を作りたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

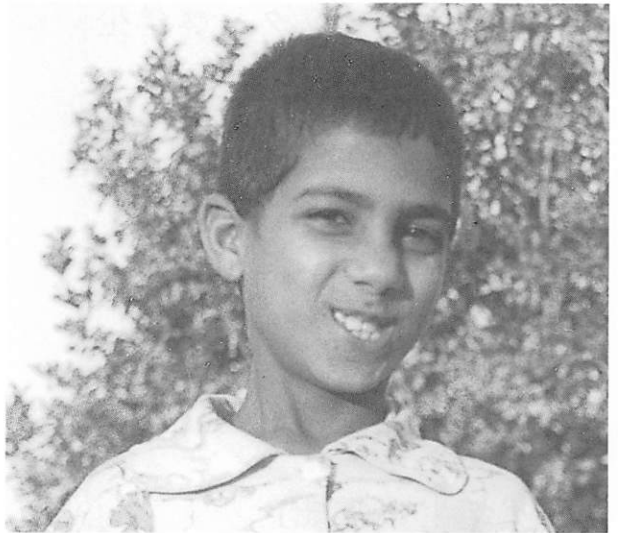
ワスデオ

【生年月日】

1987 / 11 / 8

【学校・学年】

小学校 4年生



【奨学生の背景】

シンドプリ村（子どもの家と同村）出身。  
両親は健在であるが、子どもの家の日常生活を見ていて、どうしても入りたくて、両親を説得して入居してきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

両親を説き伏せてきただけに、大変がんばりや。  
「大学の先生になりたいです。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ティリラトナ

【生年月日】

1985/8/16

【学校・学年】

小学校 5年生



【奨学生の背景】

チャンドラプール市（子どもの家より150km）出身。  
両親はいるが、父親が病弱でほとんど仕事ができなかった。

【奨学生の現況と将来の希望について】

入って来た時には、弟と二人だったが、都合で弟が帰ってしまった。最初は  
大変寂しそうだったが、弟の分も頑張ろうという気になっている。  
「家内工業をしてして村の女性に職をあげたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

スシュマ

【生年月日】

1985/1/29

【学校・学年】

小学校 5年生



【奨学生の背景】

ソムナダ村（子どもの家より20km）出身。  
父親は病弱で、4人の子どもを母親が養育していたが、下の2人（弟ゴータム）  
を連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

最初からいて、女子の中で一番年が上なので、女子のお姉さんの存在。  
「先生になって、無学の人を無くしたい。」



パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

アスミタ

【生年月日】

1986 / 12 / 10

【学校・学年】

小学校 5年生



【奨学生の背景】

シンドプリ村（子どもの家と同村）出身。  
父親が重婚。その新しい妻が、子どもを虐待するのを見かね、実母が連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

経済的理由で困っていた子どもより、この子のように精神的に困難を受けた子どもの方がからから抜けるのに時間がかかる。ここへ来て3年になるが、抜けきったとは言えない。「看護婦になって病んだ人の世話をしたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

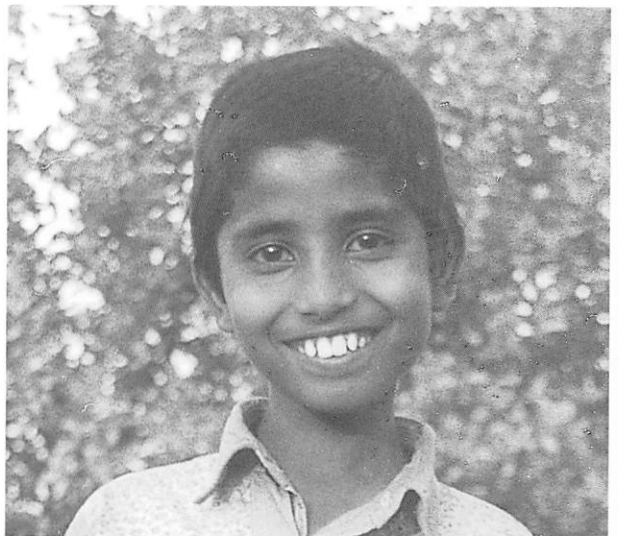
ラクシト

【生年月日】

1986 / 5 / 31

【学校・学年】

小学校 5年生



【奨学生の背景】

シンドプリ村（子どもの家と同村）出身。  
家庭が経済的に困窮していることもあるが、同級生のゴータムの状態を見て両親を説得して入居してきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

両親を説き伏せてきただけに、表には出さないが芯がしっかりしている。「警察官になりたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

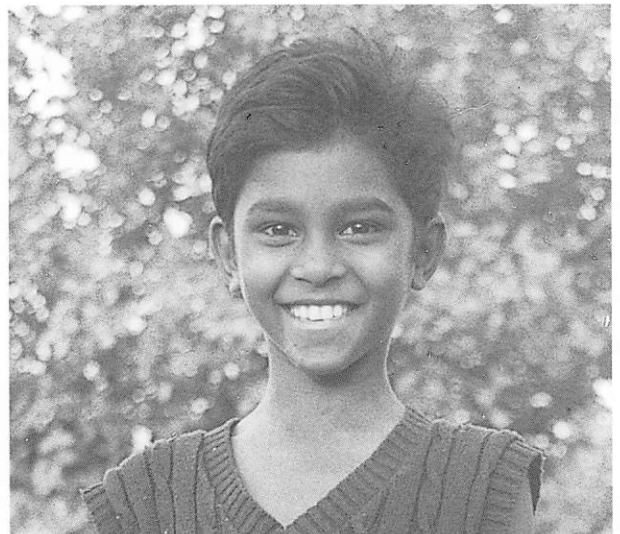
マヘーシュ

【生年月日】

1986/8/1

【学校・学年】

小学校 5年生



【奨学生の背景】

サムドラプール市（子どもの家より150km）出身。  
両親が仏教徒とヒンドゥ教という異教徒同士の結婚であったため、父親が死亡後、異教徒・カーストが違うという理由で、母子で追い出された。

【奨学生の現況と将来の希望について】

宗教・カーストに対して、大変いやな思いを持っているのに、家の中では皆と仲良く生活している。  
「農業を勉強して自分の村の人達に近代農業を教えたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

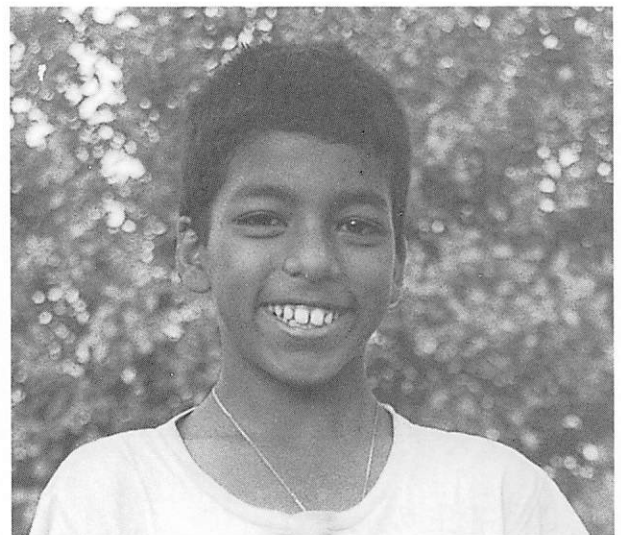
マンゲシュ

【生年月日】

1984/11/8

【学校・学年】

小学校 5年生



【奨学生の背景】

ロハラ村（子どもの家より30km）出身。  
父親が死亡後、母親が3人の子どもを日雇い労働で養っていたが、下の子供2人（兄ニティシュ）を連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

最初の7人のうちの一人。勉強が大好きな子どもである。  
「先生になりたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

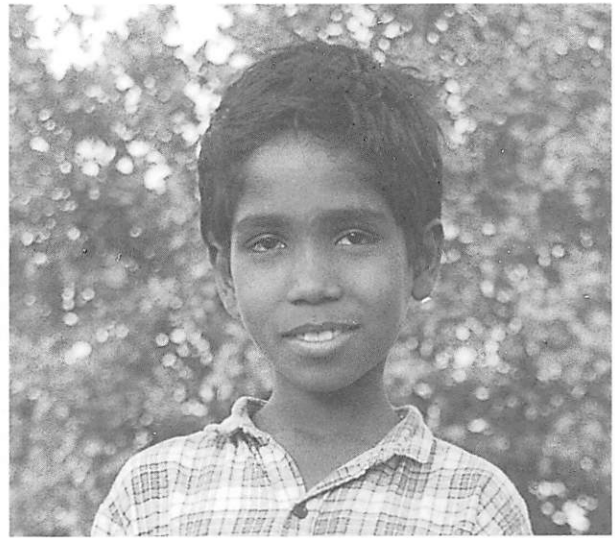
ゴータム

【生年月日】

1984/6/5

【学校・学年】

小学校 5年生



【奨学生の背景】

ソムナダ（子どもの家より20km）出身。  
父親が病弱のため、母親が4人の子どもを養育していたが、下の2人（姉のスシュマ）を連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

最初の7人のうちの一人。わんぱくグループのリーダー。  
「スポーツ選手になりたい」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ヴィシャカ

【生年月日】

1985/7/12

【学校・学年】

中学校 1年生



【奨学生の背景】

サレバッティ（子どもの家より20km）出身。  
父親は死亡。母親は病弱で寝たきりで、姉が日雇い労働をして養っていたが、95年5月に入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

学業はもう一つだが、皆の面倒をよく見る。  
「エンジニアになりたいです。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

シーマ

【生年月日】

1984/8/5

【学校・学年】

中学校 1年生



【奨学生の背景】

マレガオ村（子どもの家より30km）出身。  
母親は死亡。父親は再婚したが、継母の虐待が酷く、それを見かねて父親が妹のアルチャナと共に連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

最初の7人のうちの一人。一人でこつこつすることが功をなし成績抜群。  
「お医者さんになって無医村に行きたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ウジュワラ

【生年月日】

1983/5/20

【学校・学年】

中学校 1年生



【奨学生の背景】

チャムル市（子どもの家より40km）出身。  
母親は死亡。父親が再婚し、姉と別居し姉が養育していたが、継母が度々押しかけて虐待した。。

【奨学生の現況と将来の希望について】

女子の中では一番最後に来た。年齢が大きかったなので、なかなか馴染まなかった。二年以上過ぎてようやく馴染んできた。  
「弁護士になりたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ナリニ

【生年月日】

1984/5/23

【学校・学年】

中学校 1年生



【奨学生の背景】

ナグプール市（子どもの家より90km）出身。  
母親は死亡。精神障害を持つ父親。子どもの家に来る前は、住んでいた町を  
たらい回しの生活。その状態を見かねて、町の市議員が、弟のサチンと共に  
連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

何時も、弟のサチンを心配し気遣っている。  
「銀行員になりたい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ディーパ

【生年月日】

1986/9/14

【学校・学年】

中学校 1年生



【奨学生の背景】

ナグプール市（子どもの家より90km）出身。  
母親が死亡後、父親は再婚をしたが、継母の虐待は酷く、耐えられなくなり  
母方の祖母の元へいったが、高齢のため養育は困難。

【奨学生の現況と将来の希望について】

女子の中では一番社交的。家に来ることによって彼女の良いところが引き出  
された。  
「科学者になって新しい物を発見したい。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ラジュ

【生年月日】

1985/8/1

【学校・学年】

中学校 1年生



【奨学生の背景】

サコリ市（子どもの家より80km）出身。  
父親は死亡。母親が日雇い労働をして子ども3人を養育していた。しかし、一番下のラジュを連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

年齢が大きくなってからの入居のため、なかなか馴染めなかったが、皆に合わせようとする性格だから頑張っている。  
「先生になりたい。」

---

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

アジャヤ

【生年月日】

1985/8/23

【学校・学年】

中学校 1年生



【奨学生の背景】

カトゥルリ（子どもの家より30km）出身。  
父親が死亡。母親が日雇い労働をして養育していたが、1995年6月に来た。

【奨学生の現況と将来の希望について】

一人でコツコツ勉強して成績を上げている。  
「弁護士になりたい。」

パンチャ・メッター奨学生

【氏 名】

マノハル

【生年月日】

1984 / 12 / 30

【学校・学年】

中学校 2年生



【奨学生の背景】

ブランミ（子どもの家より20km）出身。  
父親は死亡。母親が日雇い労働をして養育していた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

家の子どものなかでは一番成績が良い。  
「お医者さんになりたい。」

---

パンチャ・メッター奨学生

【氏 名】

ニティシュ

【生年月日】

1982 / 12 / 30

【学校・学年】

中学校 3年生



【奨学生の背景】

ロハラ村（子どもの家より30km）出身。  
父親が死亡後、母親が日雇い労働をして、3人の子どもを養っていたが、下の子ども（弟マンゲシュ）2人を連れてきた。

【奨学生の現況と将来の希望について】

最初からの一人。勉強の方のリーダー。  
「エンジニアになりたいです。」

パンニャ・メッター奨学生

【氏 名】

ニャネシュワル

---

【生年月日】

1983/5/13

---

【学校・学年】

中学校 3年生

---



【奨学生の背景】

ティルリ（子どもの家より30km）出身。  
両親は健在であるが、経済的な問題で、家庭のなかに誰も教育を受けた者がいない。就学をさせたいとの希望で入居。

【奨学生の現況と将来の希望について】

最初からの一人。人望あつく、家の相対的なリーダー。  
「弁護士になりたい。」

---



## おわりに

平成8年度より一隅を照らす運動「教育里親制度」の募集を致しましたところ、第1期におきましては、継続支援68口2,040,000円、一時支援15件855,353円という多額のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

お届けいただきました里親育英金は、平成9年5月14日に、タイの「ドゥアン・プラティーブ財団」とインドの「パンニャ・メッター子どもの家」にそれぞれ送金致しました。

「ドゥアン・プラティーブ財団」は、プラティーブ・ウンソクタム女史（タイ国籍・1952年生まれ）によって設立された団体で、スラム社会が抱える諸問題に取り組んでいます。その活動の最大の目的はスラム地域の子どもたちの健全育成と教育支援にあり、貧しさ故に教育の機会を失っている子どもたちに学ぶ機会を与え、また麻薬やシンナーなどの薬物に冒された少年少女のために更正施設も運営しています。



▲ニューライフ施設の子どもたち(タイ)

都市部にスラムが形成される原因は、農村部との経済格差にあると言われています。現金収入を求めてバンコクに流入する人々の数は年々増加傾向にあります。就職先は少なく、せいぜい危険で低賃金の日雇い労働にしか就けず、スラム暮らしを余儀なくされているのが実状です。そして親と共にバンコクに来た子どもたちは、小銭を稼ぐために路上で物を売るストリートチルドレンとなり、次第に薬物売買や売春へとエスカレートし、やがては自らが薬物中毒やエイズ等の性感染症に冒されるというケースが少なくありません。こういった悪循環をくい止めるため、同財団ではタイ東北農村部の子どもたちに奨学金の支給を行い、親の経済負担を軽減すると共に、子どもたちに学問と社会生活の正しい知識を与える活動を続けています。

プラティーブ財団では、皆様方からの教育里親育英金を非行に走った子どもたちの更正施設であるニューライフプロジェクトと、タイ東北農村部の子どもたちの奨学金として活用されています。

一方「パンニャ・メッター子どもの家」は、サンガラトナ・マナケ師（インド国籍・1962年生まれ）が運営する孤児院です。サンガ師は9歳で来日し、比叡山で15年間の勉学修行に励み1985年に帰国。仏教道場「禅定林」を建立し、社会福祉活動のひとつ

として開設したのが、この子どもの家です。

パンチャとは「智慧」、メッターとは「慈悲」を意味し、死別や経済的理由によって親を失った子どもたちを収容し、仏教情操教育を通じて将来のインド社会に貢献できる一隅を照らす人材の育成に務めています。

現在この施設には9歳から13歳までの男女35名が生活していますが、子どもたちの生き立ちはそれ



▲施設には35名の子どもが生活する(インド)

ぞれ悲惨で、親に捨てられていた子、親戚をたらい回しにされた子、虐待を受け続けた子等々、心に深い傷を負って入居しました。しかし、サンガ師やスタッフの暖かい養育のもと、子どもたちは毎日元気に学校へ通い、心の豊かな人間として健やかに育っています。

この報告書からもご推察いただけます通り、両団体の子どものように、世界には同じ人間として生まれながら、経済的な格差や家庭環境によって教育を受ける機会を失って



▲世界の子どもの教育の機会を

等に育ち、立派な社会人となることを目指し、その足掛かりとして両団体の子どもたちに支援を続けております。地球の未来を担う子どもたちのために、この活動の輪がますます広がりますよう、皆さまの末永いご支援ご協力をお願い申し上げます。

いる子どもの数は計り知れません。そして、教育を受けていないがために社会的にも経済的にも虐げられ、それによって生命すら失う悲劇も数え上げればきりがありません。

ユニセフ(国連児童基金)では、子どもの権利条約の批准を各国に求める働きかけと、労働力としての搾取や虐待、買売春から子どもたちを保護する活動を続けています。

一隅を照らす運動総本部でも、伝教大師の人材養成の精神に基づき、この教育里親制度を通じて世界の子どもたちが平等に学び、平

1997年12月25日

一隅を照らす運動総本部

総本部長 獅子王 圓 泰

## わたしたちも支援しています

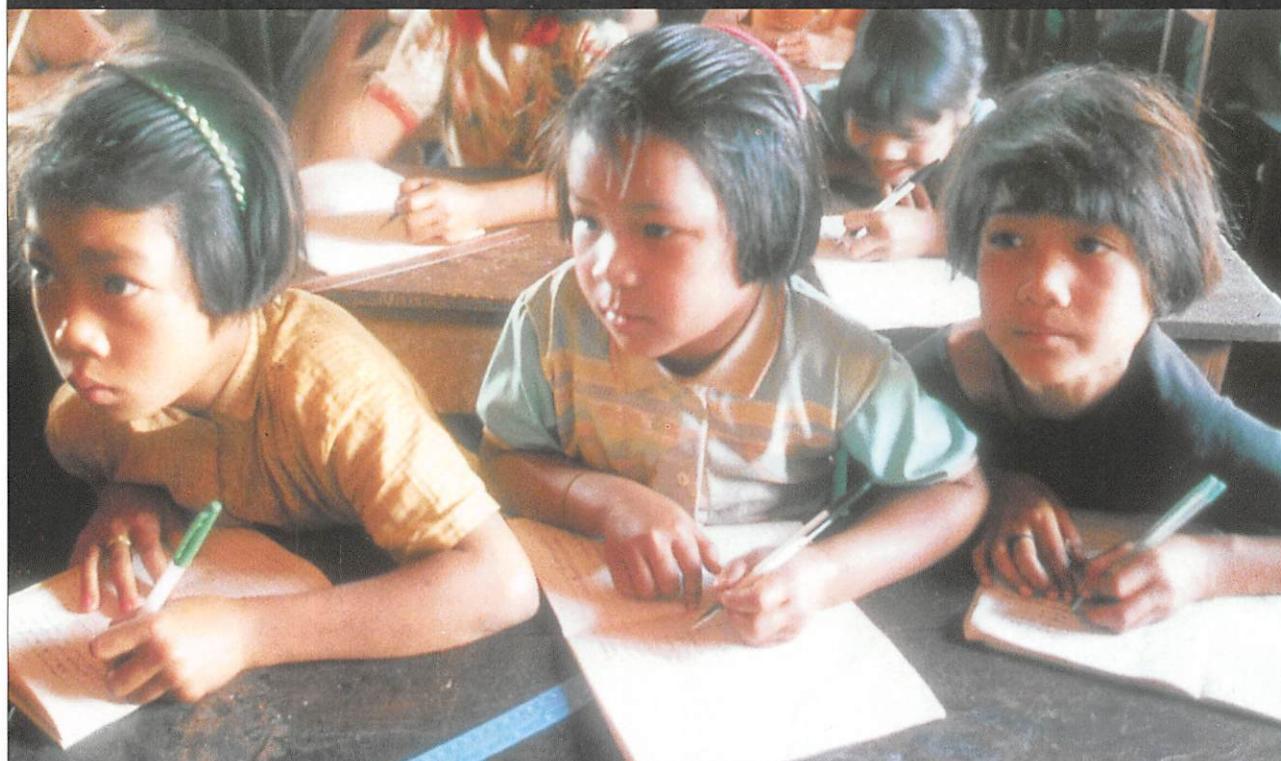
協賛団体	住所
S・C・Cコミュニケーション	東京都新宿区四谷4-7白川ビル4F
株式会社滋賀銀行	大津市浜町1-38
千代田火災海上保険(株) 首都第一営業部	東京都中央区京橋1-7-1 新八重洲ビル8F
千代田生命保険(株) 団体法人部	東京都目黒区上目黒2-19-18
株式会社びわこ銀行	大津市中央4-5-12
ヨシダ印刷株式会社	京都市中京区三坊西洞院町572-4
嵯峨野観光鉄道(株)	京都市左京区嵯峨天龍寺車道町
ジェイアール西日本ファッショングッズ	大阪市淀川区西中島5-4-20 中央ビル7F
佐川印刷株式会社	向日市森本町戊亥5-3
京都山門出入方	

## 1996年度 教育里親支援報告

編集発行 一隅を照らす運動総本部「地球救援募金事務局」  
〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内  
TEL 077-579-0022 / FAX 077-579-2516 / Eメール ichigu@mx.biwa.or.jp

発行日 1997年12月25日

# あなたの支援を待っている子どもたちがいます



## 教育里親募集のお願い

一隅を照らす運動総本部「地球救援募金事務局」では、国内外の恵まれない子どもたちのために『教育里親制度』の協力者を募集しています。世界には、貧しさや不幸な家庭環境のために教育を受ける機会を失っている子どもたちが沢山います。子どもたちは、これからの地球の未来を担う宝物です。あなたの真心のこもった支援金を子どもたちのために分けて下さい。登録は「個人」のほか、檀信徒会やご詠歌会などの「グループ」でも結構です。この支援は、年額3万円(1口)を5年間継続してご支援いただくことを原則としておりますが、金額の多少にかかわらず、一時的な支援も受け付けております。

◎継続支援：年額3万円(1口)を5年間

◎一時支援：随意

◎支援先：\*ドゥアン・プラティープ財団(タイ)  
\*パンチャ・メッター子どもの家(インド)  
\*その他

◎申込方法：総本部へご連絡下さい。「申込書」と関係資料をお送り致します。

◎申込先：一隅を照らす運動総本部  
〒520-0113 滋賀県大津市坂本 4-6-2  
TEL 077-579-0022 FAX 077-579-2516

◎振替口座：01150-1-69505

一隅を照らす運動総本部

「地球救援募金事務局」

●この教育里親制度は、皆様からの支援金を総本部が取りまとめ、責任をもって支援先に届ける制度です。

●里親として登録いただきました方には、年額3万円(1口)を5年間継続してご支援をお願いします。

●里親の方々には、支援する子どもたちからの手紙や写真、総本部からの報告書を翌年度の継続依頼書と共にお届けします。

●一時支援の方には、送金した年度の支援報告書をお届けします。

一隅を照らす運動総本部「地球救援募金事務局」